



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(平成21年9月調査分)

《景気の現状判断DI》

	平成21年6月	平成21年9月	前回調査比
茨城県	34.8	37.8	+3.0
県北地域	32.6	35.4	+2.8
県央地域	30.3	37.3	+7.0
鹿行地域	33.2	36.8	+3.6
県南地域	42.1	40.2	△1.9
県西地域	35.8	39.4	+3.6

《景気の先行き判断DI》

	平成21年6月	平成21年9月	前回調査比
茨城県	43.3	44.8	+1.5
県北地域	41.5	44.6	+3.1
県央地域	41.2	41.9	+0.7
鹿行地域	42.7	44.7	+2.0
県南地域	44.7	45.1	+0.4
県西地域	46.1	47.9	+1.8

平成21年10月

茨城県企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	7
3	回答率	10
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先

統計課企画分析グループ TEL:029-301-2642

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/bukka/watch/index.html>

調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1)対象地域

県内全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市及び郡は以下のとおりである。 ※平成21年4月1日現在

地域	市及び郡
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、那珂郡、久慈郡
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、東茨城郡
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

【地域別・業種別調査客体数】

業種名	具	例	県北地域	県央地域	鹿行地域	県南地域	県西地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等		38	39	38	37	36	188
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業		17	16	17	18	19	87
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等		5	5	5	5	5	25
	計		60	60	60	60	60	300

3 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1) のコメント（理由）
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3) のコメント（理由）
- (5) その他景気に関する意見（自由回答）

4 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成21年9月調査の調査期間は平成21年9月1日から平成21年9月30日である。

5 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方向性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方向性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5点 \times 100\%) = 50$ となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

調査結果の概要

1 全県の動向

(1) 景気の現状判断DI

3か月前と比較した景気の現状判断DIは37.8となった。6月調査分より3.0ポイント上昇したものの、横ばいを表す50は9期連続で下回った。

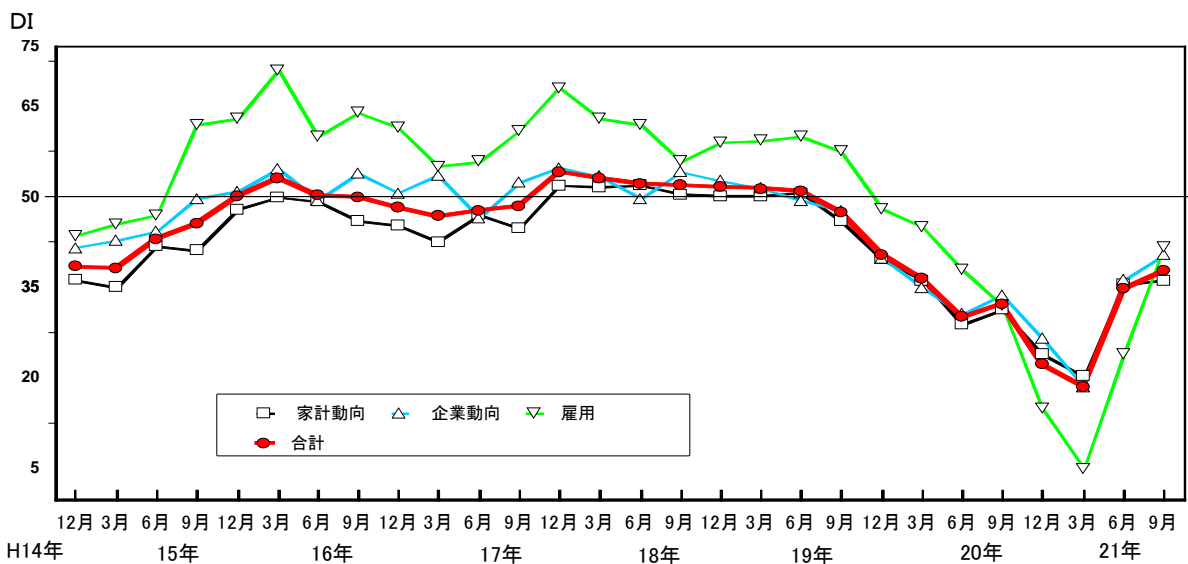
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成20年	平成20年	平成21年	平成21年	平成21年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		32.2	22.3	18.5	34.8	37.8
家計動向関連		31.4	24.0	20.4	35.6	36.1
小売関連		28.5	19.9	17.5	38.5	35.8
飲食関連		30.0	25.0	26.4	31.6	36.3
サービス関連		34.5	28.4	21.3	33.8	35.3
住宅関連		30.6	16.7	22.2	36.1	44.4
企業動向関連		33.7	20.6	18.5	36.3	40.5
農林水産業		40.6	40.6	21.9	37.5	46.9
製造業		35.6	17.6	18.5	35.6	40.8
非製造業		29.0	20.2	17.7	37.1	38.3
雇用関連		32.0	15.0	5.0	24.0	41.7

表1-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年 9月	0.7%	7.2%	29.3%	45.5%	17.2%
平成20年 12月	0.7%	5.1%	16.7%	37.5%	39.9%
平成21年 3月	0.4%	1.8%	15.1%	37.0%	45.8%
平成21年 6月	1.7%	8.7%	36.3%	33.6%	19.7%
平成21年 9月	0.7%	8.2%	47.8%	28.2%	15.1%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは44.8となった。6月調査分より1.5ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を8期連続で下回った。

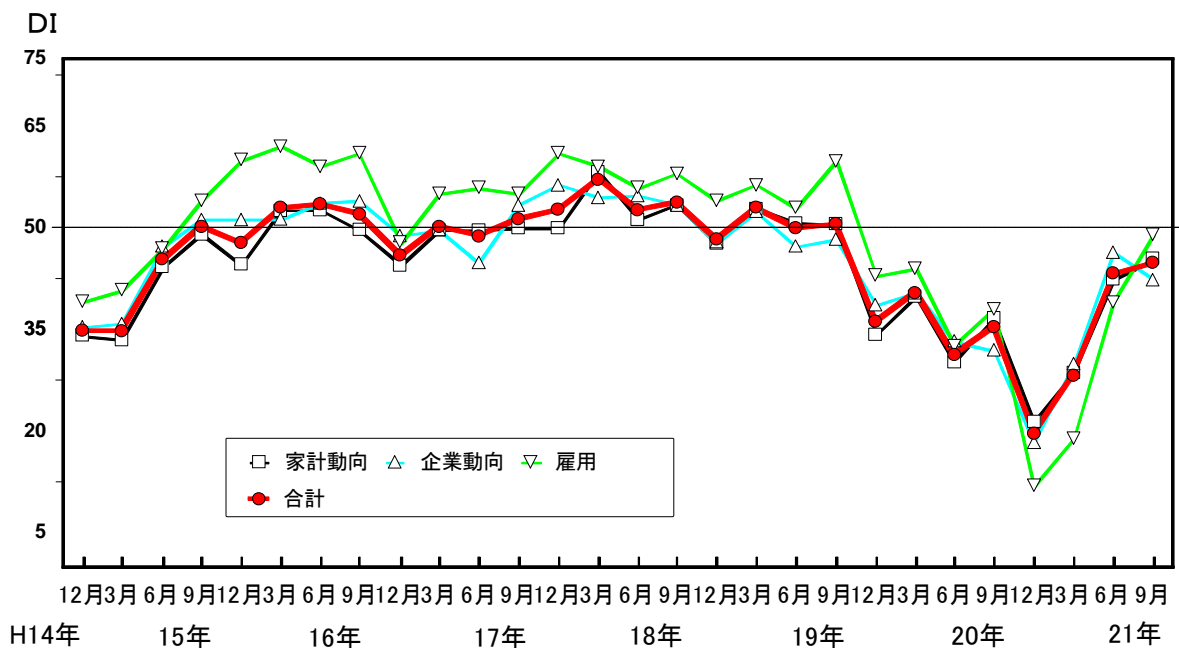
表1 - 3 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成20年	平成20年	平成21年	平成21年	平成21年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		35.4	19.7	28.2	43.3	44.8
家計動向関連		36.7	21.4	28.6	42.4	45.5
小売関連		33.5	19.5	28.0	44.4	43.2
飲食関連		32.5	21.1	36.1	43.4	51.3
サービス関連		40.5	22.2	26.9	40.3	45.6
住宅関連		38.9	30.6	33.3	41.7	50.0
企業動向関連		32.0	18.3	30.0	46.4	42.3
農林水産業		46.9	28.1	53.1	59.4	53.1
製造業		30.3	18.1	32.1	43.9	39.7
非製造業		30.6	16.1	21.0	46.8	43.3
雇用関連		38.0	12.0	19.0	39.0	49.0

表1 - 4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年 9月	1.4%	7.2%	39.3%	35.9%	16.2%
平成20年 12月	0.0%	2.4%	19.5%	32.8%	45.4%
平成21年 3月	1.1%	6.3%	29.2%	31.0%	32.4%
平成21年 6月	1.4%	15.6%	49.1%	22.5%	11.4%
平成21年 9月	0.7%	14.4%	57.4%	18.6%	8.9%

図1 - 2 景気の先行き判断DIの推移



2 地域別の動向

(1) 景気の現状判断DI

県北地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは35.4となった。6月調査分より2.8ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を10期連続で下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成20年	平成20年	平成21年	平成21年	平成21年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		33.5	23.7	16.2	32.6	35.4
家計動向関連		30.4	20.9	17.1	31.9	31.8
企業動向関連		38.2	29.4	14.7	36.1	41.7
雇用関連		40.0	25.0	15.0	25.0	40.0

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年 9月	1.7%	3.4%	39.0%	39.0%	16.9%
平成20年 12月	1.7%	8.5%	16.9%	28.8%	44.1%
平成21年 3月	0.0%	0.0%	14.0%	36.8%	49.1%
平成21年 6月	1.7%	8.5%	32.2%	33.9%	23.7%
平成21年 9月	0.0%	10.0%	40.0%	31.7%	18.3%

県央地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは37.3となった。6月調査分より7.0ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を9期連続で下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成20年	平成20年	平成21年	平成21年	平成21年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		34.6	23.7	20.1	30.3	37.3
家計動向関連		35.9	28.3	24.3	36.1	37.5
企業動向関連		32.8	15.6	14.1	25.0	35.9
雇用関連		30.0	15.0	10.0	5.0	40.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年 9月	1.7%	8.3%	26.7%	53.3%	10.0%
平成20年 12月	0.0%	6.8%	16.9%	40.7%	35.6%
平成21年 3月	0.0%	1.8%	17.9%	39.3%	41.1%
平成21年 6月	0.0%	5.3%	35.1%	35.1%	24.6%
平成21年 9月	0.0%	6.8%	47.5%	33.9%	11.9%

鹿行地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは36.8となった。6月調査分より3.6ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を8期連続で下回った。

表2 - 5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成20年	平成20年	平成21年	平成21年	平成21年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		28.6	20.3	14.0	33.2	36.8
	家計動向関連	26.5	22.9	17.4	31.8	36.5
	企業動向関連	32.8	17.6	10.9	37.5	36.7
	雇用関連	30.0	10.0	0.0	30.0	40.0

表2 - 6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年 9月	0.0%	5.5%	25.5%	47.3%	21.8%
平成20年 12月	0.0%	1.7%	19.0%	37.9%	41.4%
平成21年 3月	0.0%	1.8%	8.8%	33.3%	56.1%
平成21年 6月	0.0%	8.6%	34.5%	37.9%	19.0%
平成21年 9月	0.0%	7.0%	50.9%	24.6%	17.5%

県南地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは40.2となった。6月調査分より1.9ポイント下落し、横ばいを表す50を8期連続で下回った。

表2 - 7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成20年	平成20年	平成21年	平成21年	平成21年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		32.1	24.2	23.2	42.1	40.2
	家計動向関連	29.5	26.4	25.0	42.4	37.1
	企業動向関連	37.5	23.6	26.4	42.2	45.3
	雇用関連	30.0	10.0	0.0	40.0	45.0

表2 - 8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年 9月	0.0%	8.9%	25.0%	51.8%	14.3%
平成20年 12月	1.7%	5.1%	13.6%	47.5%	32.2%
平成21年 3月	1.8%	0.0%	23.6%	38.2%	36.4%
平成21年 6月	1.8%	12.3%	47.4%	29.8%	8.8%
平成21年 9月	1.8%	5.4%	57.1%	23.2%	12.5%

県西地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは39.4となった。6月調査分より3.6ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を9期連続で下回った。

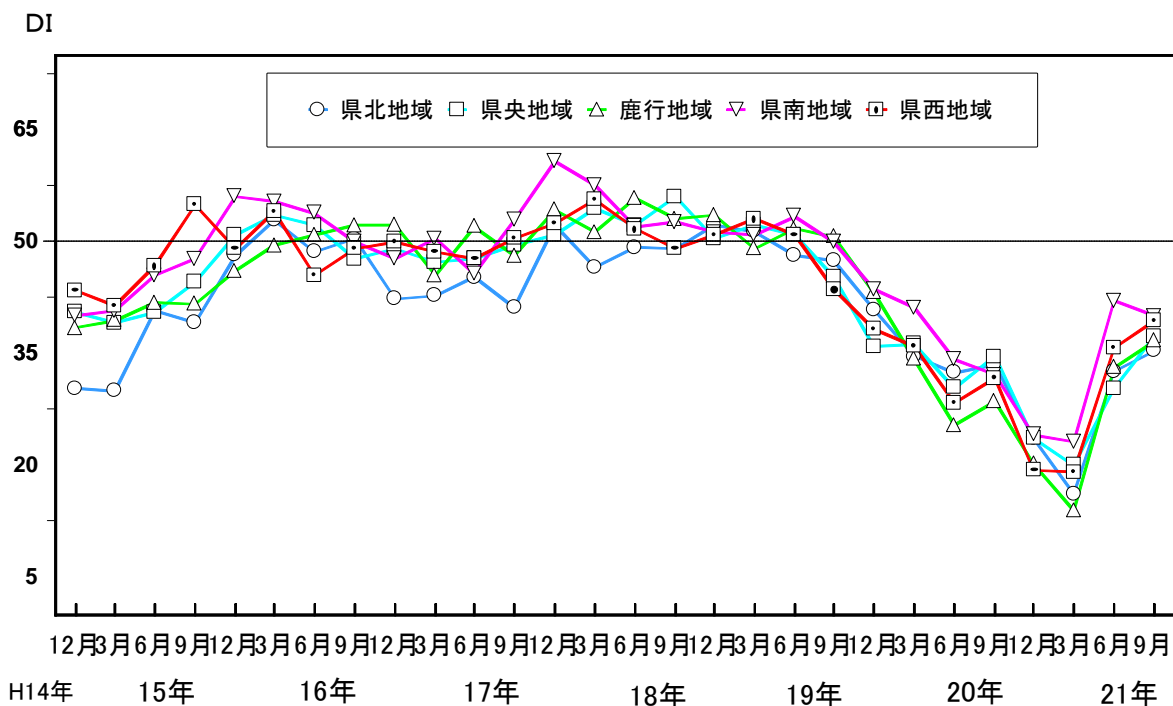
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査月				
	平成20年 9月	平成20年 12月	平成21年 3月	平成21年 6月	平成21年 9月
合計	31.7	19.4	19.1	35.8	39.4
家計動向関連	34.0	21.4	18.8	35.7	37.5
企業動向関連	27.6	16.7	25.0	40.3	42.1
雇用関連	30.0	15.0	0.0	20.0	43.8

表2-10 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年 9月	0.0%	10.0%	30.0%	36.7%	23.3%
平成20年12月	0.0%	3.4%	17.2%	32.8%	46.6%
平成21年 3月	0.0%	5.1%	11.9%	37.3%	45.8%
平成21年 6月	5.2%	8.6%	32.8%	31.0%	22.4%
平成21年 9月	1.7%	11.9%	44.1%	27.1%	15.3%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは44.6となった。6月調査分より3.1ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を8期連続で下回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成20年	平成20年	平成21年	平成21年	平成21年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		39.4	15.3	24.6	41.5	44.6
	家計動向関連	40.5	14.2	26.4	38.2	43.2
	企業動向関連	35.3	17.6	20.6	52.8	45.8
	雇用関連	45.0	15.0	25.0	25.0	50.0

表2-12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年 9月	3.4%	6.8%	45.8%	32.2%	11.9%
平成20年 12月	0.0%	1.7%	15.3%	25.4%	57.6%
平成21年 3月	3.5%	3.5%	24.6%	24.6%	43.9%
平成21年 6月	1.7%	15.3%	47.5%	18.6%	16.9%
平成21年 9月	1.7%	10.0%	61.7%	18.3%	8.3%

県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは41.9となった。6月調査分より0.7ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を9期連続で下回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成20年	平成20年	平成21年	平成21年	平成21年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		37.5	18.2	25.9	41.2	41.9
	家計動向関連	44.9	24.3	32.1	46.5	42.8
	企業動向関連	21.9	7.8	18.8	35.9	39.1
	雇用関連	30.0	5.0	5.0	20.0	45.0

表2-14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年 9月	0.0%	8.3%	43.3%	38.3%	10.0%
平成20年 12月	0.0%	6.8%	8.5%	35.6%	49.2%
平成21年 3月	0.0%	5.4%	23.2%	41.1%	30.4%
平成21年 6月	0.0%	10.5%	56.1%	21.1%	12.3%
平成21年 9月	0.0%	13.6%	50.8%	25.4%	10.2%

鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは44.7となった。6月調査分より2.0ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を8期連続で下回った。

表2 - 15 景気の先行き判断D I

分野	調査月				
	平成20年 9月	平成20年 12月	平成21年 3月	平成21年 6月	平成21年 9月
合計	32.3	21.1	28.1	42.7	44.7
家計動向関連	27.9	22.9	26.4	38.5	43.9
企業動向関連	40.6	20.6	34.4	50.0	45.0
雇用関連	35.0	10.0	20.0	50.0	50.0

表2 - 16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年 9月	1.8%	3.6%	40.0%	30.9%	23.6%
平成20年 12月	0.0%	1.7%	15.5%	48.3%	34.5%
平成21年 3月	0.0%	5.3%	35.1%	26.3%	33.3%
平成21年 6月	1.7%	15.5%	46.6%	24.1%	12.1%
平成21年 9月	0.0%	17.5%	54.4%	17.5%	10.5%

県南地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは45.1となった。6月調査分より0.4ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を8期連続で下回った。

表2 - 17 景気の先行き判断D I

分野	調査月				
	平成20年 9月	平成20年 12月	平成21年 3月	平成21年 6月	平成21年 9月
合計	30.4	24.6	30.5	44.7	45.1
家計動向関連	28.8	22.9	29.7	41.7	45.7
企業動向関連	31.9	31.9	34.7	48.4	42.2
雇用関連	35.0	10.0	20.0	55.0	50.0

表2 - 18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年 9月	0.0%	7.1%	25.0%	50.0%	17.9%
平成20年 12月	0.0%	1.7%	33.9%	25.4%	39.0%
平成21年 3月	1.8%	7.3%	29.1%	34.5%	27.3%
平成21年 6月	1.8%	15.8%	45.6%	33.3%	3.5%
平成21年 9月	0.0%	14.3%	58.9%	19.6%	7.1%

県西地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは47.9となった。6月調査分より1.8ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を10期連続で下回った。

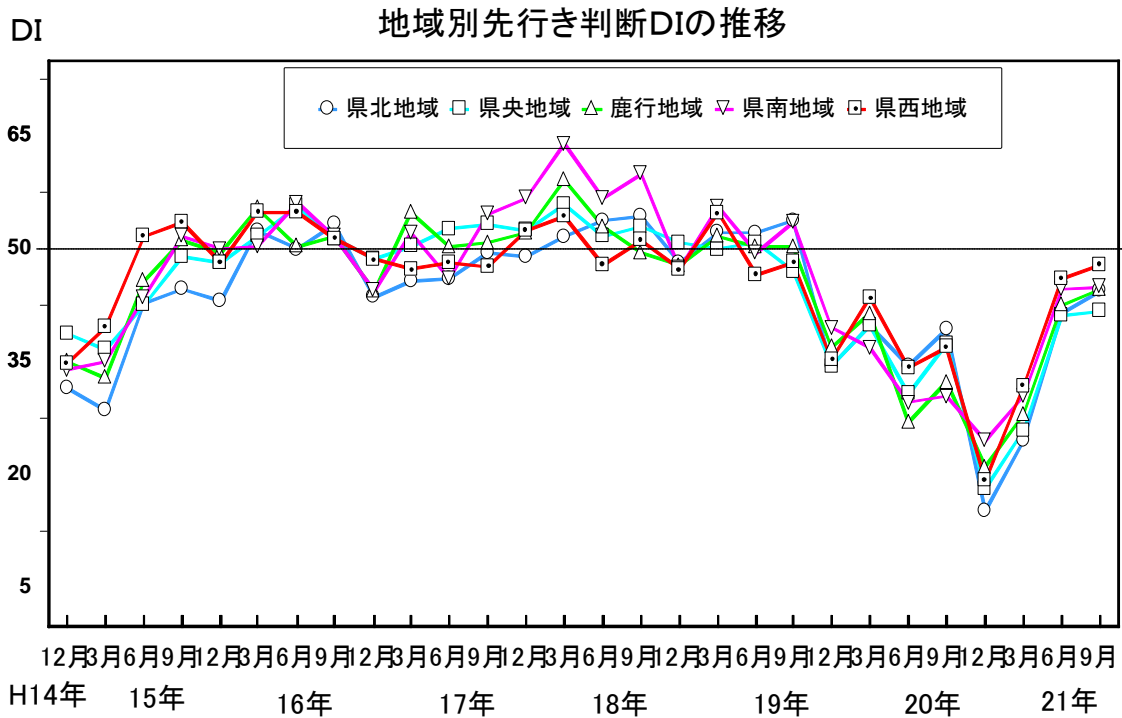
表2 - 19 景気の先行き判断D I

分野	調査月				
	平成20年 9月	平成20年 12月	平成21年 3月	平成21年 6月	平成21年 9月
合計	37.1	19.4	31.8	46.1	47.9
家計動向関連	39.6	22.9	28.5	47.1	52.1
企業動向関連	30.3	12.5	40.3	44.4	39.5
雇用関連	45.0	20.0	25.0	45.0	50.0

表2 - 20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年 9月	1.7%	10.0%	41.7%	28.3%	18.3%
平成20年 12月	0.0%	0.0%	24.1%	29.3%	46.6%
平成21年 3月	0.0%	10.2%	33.9%	28.8%	27.1%
平成21年 6月	1.7%	20.7%	50.0%	15.5%	12.1%
平成21年 9月	1.7%	16.9%	61.0%	11.9%	8.5%

図2 - 2 地域別先行き判断DIの推移



3 回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	291 人	97.0%
県北地域	60 人	60 人	100.0%
県央地域	60 人	59 人	98.3%
鹿行地域	60 人	57 人	95.0%
県南地域	60 人	56 人	93.3%
県西地域	60 人	59 人	98.3%

Ⅲ 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良			
やや良くなっている	家計	自動車販売店	自動車販売においてはエコカー減税やスクラップインセンティブなどの制度により若干ではあるが動きがでてきている。
		ゴルフ場	総選挙・知事選等の傾向は、例年であると来場者売上共減少する。売上について6月時の前年比と今回の前年比を比べるとやや良くなっている。
	企業	製造業（精密機器）	案件が増加してきた。
		製造業（電気機械器具）	出張等が増加してきている。
		製造業（輸送用機械器具）	グリーン税制による税金還付、中国国内向けの需要好調による要求増、ハイブリット車の販売好調もあり生産要求が戻りつつある(残業等も増えつつある)も、リストラ(人員削減・賃金及び賞与CUT等)継続実施中のため徐々に景気回復している実感が極めて少ない。
建設業	公共・民間工事とも、発注や見積物件が増加してきている。		
変わらない	家計	商店街代表者	悪い状態で変わらない。
		スーパー	チラシ投入初日は客数増になっているが、それ以降は減少している。
		スーパー	3か月前もどん底状態であったので、上昇傾向にない。底で変わらない。
		衣料品販売店	ここ数か月、最悪の状態です。これ以上上下がり様がない。
		衣料品販売店	衣料業界は売れている商品はプライスが低く、客当たりの買い上げ点数も少ない。夏のバーゲン時期においては、必要なものしか買わず安いからと言って売れていない。
		スナック	常連客が飲みに来てくれる回数は、減少してはきてる。けど、3か月前とそんなに変わらない。
		観光型ホテル	昨年の売り上げと比較して毎月2割～3割のダウンなので今月も変わらないと考える。
		タクシー運転手	3ヶ月前の売上と、ほとんど変わらない(1日当たりの売上げが25,000円位)ため。
		ドライブイン	6月の昨対と変わりなし。天気にも左右されたと思われる。夏期繁忙期は、客数は多いが、売上に反映されなかった。
		ゴルフ場	依然としてデフレ傾向が非常に強く、プレー料金の設定により入場者数が大きく変化し、安定した運営には程遠い観がある。
		レジャー施設	客単価が6月期とほぼ横ばいであるため。
		ゴルフ場	来場者数は前年比でプラス、3か月前と比較しても客足は良化している。しかし、価格面ではシビアな反応が有り5000円位の差で良くも悪くもなり価格設定に苦慮している状況。
		理・美容店	通常月と比べ変化要因なく変わらない。ただし前年と比較すると低いレベルで推移している。
		林業関係者	造林事業(下刈)作業が一段落しこれから素材生産が始まる訳だがなかなか一般素材の販売が思わしくない。
		企業	製造業（一般機械器具）
製造業（電気機械器具）	下げ止まりしているのか、底から徐々に良くなってきているのかの状況判断が微妙な状態で続いている。当月も受注金額が減少したままの状況から、雇用調整・帰休等の対策を取らざるを得ない。下がったままの状況が改善されないことから、変わらない状況が続いている。		
製造業（電気機械器具）	特に仕事量は変化はない。		
情報通信業（情報サービス業）	商談はあい変わらず少なく、競争も激しく利益が上がらない。		
不動産業	不動産業界(住宅)に関しては好転する材料に欠けるため、暫くは現状のまま推移すると考える。		
雇用	運輸附带サービス業	顧客の業種が短月で変化するものでなく(都市インフラ関連)、年度予算で業績が決まるため、現状では低い水準で変わらないと判断している。	
	公共職業安定所	新規求人数及び有効求人数が2月連続して前年月を下回っている。また、事業主都合による離職が前年同月に比較し56%増加している。	
	学校就業関係者	今月から学生の就職活動が始まるが、求人数が去年と比べ、大幅に減少している。よって、3か月前と比べ景気の状態は変わらない。	
	就職相談員	仕事量の増加はみられず、求人するどころか雇用調整助成金を継続中の事業所が多い。	
	スーパー	客数の伸びがない。客単価が悪い。	
	コンビニエンスストア	給与、賞与が厳しい状況の企業が多く、可処分所得が低減している。その為買上点数、客単価共に減少を止めることが出来ていない。節約志向の意識は更に強まっており、厳しい状況となっている。	
	コンビニエンスストア	買上点数(1人当りの買上個数)の減少が止まらない。セール(安売り)に対する反応が以前と比べより大きくなっている。	
	小売業(酒類)	タバコ販売機タスポ導入後1年経過、売れ行き低迷続く。冷夏の影響に伝わり、昨年にも増して冷たい飲物売れ行き低迷状態。	
	小売業(水産物)	売り上げ、客単価、共に減少している。	
	小売業(靴製品)	夏の商品が売れ残りが目立つ。	

やや悪くなっている	家計	レストラン	天気（気候）も左右されているかも知れないが、皆さん財布のヒモが固いのではないかと思う。将来の不安プラス。
		和食食堂	分散型の夏休みとはいえ例年に比べると会社関係の休みが多く、半月も仕事が少ないと外食を遠慮してる様だ。
		観光型ホテル	前年同時期と比較して、宿泊予約はほぼ横ばいとなっているが、日帰り宴会昼食の予約が減少している。
		旅行代理店	インフルエンザへの予防対策、危機管理対策の一環として、学校・企業共に団体旅行の中止・延期がでてきた。
		タクシー運転手	会社関係に来て（営業マン）タクシーの利用が少しずつ減少している。そのために売上げが伸びないと思う。
		パチンコ店	休日の過ごし方自体が変わってきたのではないかと思う。つまり休日にかかるお金の額が減少していると感じる。
		住宅販売会社	イベント以外での集客が伸び悩んでいる。
悪くなっている	企業	水産業関係者	茨城の沿岸漁業者は、漁業者にとっても、又水産加工業者にとっても現在誠に不況で推移している。茨城海域に良い漁場が形成されていない為であり、その要因は海流によるものと思われる。（本年は水温が低層部で低い）
		製造業（製缶）	重電関係の同業者より、作業量が減少していると聞いている。取引先グループの電力・産業用機器メンテナンス部品の作業量が減少している。（遠隔地）
		製造業（電気機械器具）	作業量が少ない。残業が減少した。
		製造業（電気機械器具）	主力製品の売上が減少した。
		運輸業	4月頃に見込んでいた工場の集約による運送需要は想定していたよりもかなり少ないものとなり、生産も海外需要の低迷により、暫くは低くなるとの事。しかし、9月より東京港より苫小牧行き船が常陸那珂港からの航路に変更になった為、多少は貨物量も増加すると思われる。また、地元企業関連の貨物量は4月より段々と減少してきている。
		金融業	地元企業の夏季休暇日数が多く、関連企業において受注減少がみられ、やや景況悪化傾向にある。
悪くなっている	家計	商店街代表者	景況の冷え込みは消費マインドの減退と共にますますひどくなっている。買物動向も郊外店に高速1000円（土日）となり週末の来街者は大きく減少している。※ジョイフル本田、アウトレットに行っている。
		金物・荒物・建築資材	売上が減少している。例年、6～8月は売上が減少するがここ3年で一番悪い。
		ガソリンスタンド	選挙の結果予算執行が変わる。土木建築業から不景気がくる。
		居酒屋	前年より悪くなっている。
		観光型ホテル	今月は例年売上がおちる為。
		タクシー運転手	会社のタクシーチケットが少なく売上げ及び夜間の集客が減少している。
		クリーニング店	客数、客単価ともに大きく減少している。
企業	製造業（電気機械器具）	7月以降30%～50%（前年比）落ち込んでいる。年内はこの状況が続く可能性が非常に大きい。	
	製造業（電気機械器具）	部門ごとに差はあるものの総じて作業量が少ない。帰休を実施している。	
雇用	求人広告	倒産件数の増加や失業率の増加の具合から。	

(2) 県央地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良 や や 良 く な っ て い る	家計	百貨店、総合スーパー	若干ではあるが、上向き傾向にある。高額品はあいかわらず買いしぶりが見られるが、婦人服などのシーズンものには動きが見られた。
		都市型ホテル	夏休みが終わり動きが止まると考えていたが、シルバーウィークの影響で個人利用者が活発である。
	企業	農業関係者	肥料の価格が若干低下したことにより、生産費が抑えられた。
	雇用	人材派遣業	製造業からの受注が増加した。
変 わ ら な い	家計	商店街代表者	法人、個人とも 消費についてかなりシビアだ。
		百貨店、総合スーパー	売上高・来店客単価とも徐々に前年に近づいてきているが、まだ水準は低い。来店客数の減少傾向も変わらず。
		スーパー	1人当りの利用単価は上がらない。客数の変化少ない。セール品差で左右されている。
		スーパー	高速1000円も、この地区は通過点となり全体の客数が減少している。
		スーパー	3か月前と同様に売上低迷が続いている。お客様1人当りの単価も同様。
		家電販売店	売上が伸びない。
		専門スーパー	市場の価格は安定し、また、値下げ競争の部分はあるが、極端な売上にはつながっていない。相変わらず必要なものみの購入である。建築資材などの動向も、落ちている。
		レストラン	昼(ランチ)はご婦人方を中心にある程度にぎわっているが、夜(ディナー)はあまり動きがない。3か月前と変わっていない。
		割烹料理店	景気の悪いのには世の中が慣れてしまい口には出さねど財布のヒモは固くなっている。
		タクシー運転手	実車数が約30%増加したものの、売上では約2%減少となり、総じてみると不況のままと評価する。
		タクシー運転手	営業乗車回数は、相変わらず少なく、売り上げは底である。また、タクシーチケット客も相変わらず減少してきている。3か月と言う短期間では変わらなかったと判断できる。
		ドライブイン	高速道路の便が良くなった反面戸を立ち寄らず大洗方面に流れているように思う。
		観光名所	相変わらず高額商品の動きはにぶく苦戦しているが、昨年同時期に近い数字を確保。3か月前も同様の動き。
		レジャー施設	マリンレジャーのトップシーズンも過ぎ、当施設の利用者から所有艇を売りたいとか買い替えを希望するなどの話が聞こえてこない。(通常、シーズンが過ぎる頃に変動することが多いため)
		レジャー施設	入場者数も売上額も若干の伸びは見られるが、良くなっていると感ぜられるほどではない。栃木や埼玉など近距離の他県客は増加しているが、遠くからの客は少なく、県内の客も減少しているため、トータルでは変化は無い。
	理・美容店	6月は梅雨に入り、縮毛矯正やパーマをかける人が多かったせいか5月に比べると多少忙しかった。9月は地域的に収穫の季節なので田んぼ、栗に忙しく(スタイル)頭を気にする人が少ない様に思う。	
	理・美容店	暇と忙しい日があり、一か月のまとめでは夏で暑かったので少し良かったが。	
	住宅販売会社	政権交代の影響が出るのはまだ先であり、上向くか下向くか未知数であるため。	
	企業	製造業(食料品)	景気の悪さも底をついている状態なので当分この状態は変わらないと思う。
		製造業(食料品)	停滞中、新店オープンしても、売上げが上がらない。
製造業(窯業・土石製品)		受注が減少している。	
製造業(金属製品)		相変わらず、仕事量が少なく、赤字受注・安価受注が横行しているから。	
建設業		エコカー減税およびエコポイント等の影響で一部の業種は景気回復に向かっている感もあるが、全体として未だ個人消費が低迷している様に思える。特にマンションの低迷が目立つ。	
情報通信業(情報サービス業)		国の景気回復傾向との発表は、まだ、限られた業種の特需的要因によるものと思われ、市場全体としての景況感、まだまだ回復基調とは言えない。顧客も新規設備投資には、きわめて慎重であり、先行きをもう少し見極めてから検討したいとの返答が多い。また、販売も、無利多売の傾向に陥り、社員の給与の一部をカバーすることが出来れば良いとの話も多々聞こえて来る。明るい材料は見られず、景気は停滞したままと感じている。	
金融業		悪い状況が続いている。商店街は人通りも少なく、売上不振が続いている状況である。貸テナントは埋まらず、テナント料金の安価な郊外への移転も多い。勤人のボーナス支給も低下しており、消費にはお金が回らない状況。	
不動産業		前年の同時期と比べて来客数等特別変化がない。	
雇用		求人広告	個人店の客の取引先が多く現状景気が回復しないため貸金運営出来ないとの事。
	学校就業関係者	身の経済状況が3か月前と変化ないため。	
	商店街代表者	今年の夏は天候不順で、雨の日が多く雨の日は通行量も減り傘を差して買物に来ない。商店街の通行量も減り来街者も少なく来店客数も減少し客単価も低く厳しい状態である。	

やや悪くなっている	家計	自動車販売店	車購入の減税補助金を受けて、購入、検討した客も一巡しているように感じる。購入車も小さなコンパクトカーになり売上がなかなか上がらない現状だ。
		農産物直売所	青果物の売れ行きは変わらない。精肉はブランド和牛の売れ方は3か月前と同じく悪い。飲食部門が夏休みにもかかわらず売上げ減少。必要な物だけ買う傾向が強い気がする。
		専門スーパー	全店での上調不調の為。
		レストラン	収客としては例年並であるが客単価は減少傾向にあると考える。
		ファミリーレストラン	昨年及び3か月前と比較して宴会等の受注件数が減少している。各企業での会合が少なくなって来ている。また、金額的にも予算が減少している為。
		都市型ホテル	夏のシーズンも厳しかったが、この先の忘年会の予約状況も例年に比べ悪い。全体の利用客も減少している。
		観光型ホテル	団体需要が弱く、昨年の実績に届かない。個人の客も付帯消費を抑えている傾向にみえる。
		旅行代理店	新型インフルエンザの流行による外出控え、景気低迷による個人消費が上向き気配が感じられない。前年比を見ても7～8月ともやや悪くなっている。
		タクシー運転手	駅からの工業団地へ、向かう客は減少し、売上げも悪くなっている。
		タクシー運転手	来客の数が減少している。特に駅などで出張にくる人が少ない。
		ドライブイン	あいかわらず厳しい状況に変わりなく、レストランの来客数は大きく減少している。また、観光客のみやげ品を買う点数も減少している。外食や買物など余計な支出は控えている。
		ゴルフ場	3か月前と比較して予約数に伸びがみられない。プレーヤーの退場時間が早くなっている。
		パチンコ店	売上げの低下。
		建築設計事務所	良くなる要因は、まったく感じられなかった。
企業	製造業（印刷・同関連業）	売上が減少しているため。	
	製造業（一般機械器具）	当社は設備関連の仕事が主だ。底を打つかも知れないが、底の原点が問題外の底。そこから少し良くなっても全体的には問題外。まだまだ良くなりそうもない。	
	運輸業（道路貨物運送業）	在庫の整理が一巡してきたが、まだ、生産は回復していない。	
	サービス業（コンサルタント業）	仕事先の小売店や飲食店の前年同月比を比較すると、3か月前より悪くなった店舗が多い。天候の不順の影響で客足が伸びない上に、その減少分をカバーしようとしてセールの前倒しや無料サービスを実施した影響で利益率を悪化させた。	
雇用	就職相談員	新規登録者人数が4月・5月共に昨年対比145～147%の伸びがあるが8月度昨年対比118%に終わっている。しかし、中身を見ると無職の人で求職活動中の人が昨年対比128%と伸びている。	
悪くなっている	家計	スーパー	客単価、買上点数、客数いずれも減少している。新しいことにチャレンジはしているが、まだ結果は出ていない。
		コンビニエンスストア	客が価格で商品を選ぶようになった。（以前は品質重視）
		パチンコ店	客の来店状況を見ると以前と比較して良い日と悪い日の差が多くなった。安定しない。売上等も少しずつ減少傾向にある。
	企業	製造業（印刷・同関連業）	受注が減少している為。
		製造業（精密機械器具）	全体的に引き合い件数は増加傾向を示しているが、受注に至らないものが多い。
		サービス業（広告業）	中間決算時期に入り、クライアントの業績は悪い状況が続く。販促予算を捻出する動きが鈍く、競合による見積もり合戦のケースが減少した。
雇用	公共職業安定所	3か月前との比較で、有効求人数は11.4%減少しており、有効求人倍率も0.46倍と3か月前と比較して0.06%ポイントの低下となっている。雇用保険の受給者実人員も3か月前との比較では35.7%増加し長引く景気悪化に伴い、雇用情勢は極めて厳しいものとなっている。	

(3) 鹿行地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良			
やや良くなっている	家計	ドライブイン	高速道路ETC1, 000円と思われる効果があった。
		レジャー施設	利用者が増加している。特に7月中旬から8月に若年者の利用が目につく。昨年の同月と比較しても増加しているので、景気はやや良くなっている。
	企業	製造業(化学工業)	出荷量は、昨年比の約70%程度まで回復し、稼働も維持から上昇に転じてきた。しかし、未だコストに見合う価格にはなっておらず、量を維持しながらの価格交渉という厳しい状態が続いている。
変わらない	家計	商店街代表者	地域経済も国家経済も人体の健康状態と同じで消化器系、循環器系、頭脳の部分が政治経済政策に有子と思われる。産業の空洞化を改めて行くには時間も年月も必要だが出来ることから血液の流れを良くする様に活性化をすればすばらしい地域経済の発展と子孫繁栄に繋ぎと断言する。
		商店街代表者	8月に景気対策として10%上乗せした1億円プレミアム商品券を発行、3か月の期限を設け地元事業所への波及効果を担った事業を行った。
		商店街代表者	特に変化は感じられない。変わらず景気は悪い状況である。
		スーパー	特に価格の安い目玉商品だけが集中して売れる。また、値引き商品の販売が集中する。
		家電販売店	エコポイント商品テレビは売れているが、他の商品は大きく伸びていない。高額商品は競合他社との比較も多く景気が良くなっているとは思えない。
		自動車販売店	前回よりはエコカーの購入補助金等の関心もあり、来店も増加して受注も増加しているが、去年と実績があまり変わらない。整備の入庫は減少している。
		小売業(菓子販売店)	客単価や利益率がほぼ変わらないため。
		そば処	9月1日に祭が行われたが、いつもなら忙しいのに客の入店が少なかった。このような特別な日も暇である。
		洋食食堂	例年夏休み時期は行事等も多く、賑わいがあるはずなのに、平日ともなると普通の月と同じであった。天候の影響もかなりあった。
		観光型ホテル	予約の人数を去年と比較して。
		タクシー運転手	悪い景気がそのまま変わらない。
		タクシー運転手	3か月前とタクシーを利用する客は変わらない。
		理・美容店	売上げはたいして変わらない。今のこの時代は、髪を切ることはあまり気にならないかもしれない。以前はお盆だから、新学期だからと髪をきれいにする人が多かったが、今は、髪が伸びたら来るという感覚になっているかもしれない。
		理・美容店	客数および客単価ともに横ばいだ。
	住宅販売会社	いまだ買い控えの状況が続いている。	
	住宅販売会社	展示場の来場者数を考えても特別に変化がない。	
	企業	水産業関係者	大きな変化はなく、引き続き低調に推移している。
		製造業(食料品)	客単価が低下している。季節商品だけが動くだけで、通常商品の動きが鈍い。
		製造業(飼料)	飼料の出荷状況は、昨年並みと変わらない。
		製造業(印刷・同関連業)	良い話も悪い話もあり聞かない。
製造業(化学工業)		予算に続いて、更なる経費の削減を行っている。	
製造業(鉄鋼業)		生産が徐々に回復しているが、景気が良くなっているとは感じない。	
金融業		地元企業の動向について、先の受注見込み等以前と変わらず、経費削減等企業努力を行い、現状維持に努めている状況であり、設備投資等需要は無く、今後も急激な変化は無いと判断する。	
保険業		悪いまま続いている。	
サービス業		顧客からの仕事の依頼、引合が低迷しており、件数の増加が認められない。	
雇用	人材派遣業	鉄鋼業では一部自動車用鋼板類初めやや増産の動きがある。これはエコカーを中心とする時代の動向を増産貴重反映したものと言える。また、昨年来の世界同時不況に伴う各業種の大減産から市中在庫の減少で、店売りも含め在庫不足による増産と見る。しかし、コンビナート全般ではまだまだ減産縮小で元気が無い。	
	学校就業関係者	離職者対象の講座の応募者増が続いている。また、求人受付は8月以降止まっている。	
やや	家計	農産物直売所	来客数の減少、客単価の伸び悩み。
		小売業(酒類)	客の来店人数は大きく変わらないが、1人当たりの買上金額が減少している。
		小売業(薬品店)	依然として消費者の財布のヒモは固い。
		小売業(金物店)	市内に現場がなく県外に配達している。工場内も稼働率が低下している。
		小売業(書店)	客数の減少のみならず、客単価もやや下降気味。
		衣料品販売店	客数としては伸びているが、客単価が減少している。夏休みの行楽ニーズを期待したが、旅行関連のものは例年より動きが悪く、不景気を実感した。
		割烹料理店	コンビナートの近くにあり、企業の客が多いため、今日は土曜日でも入ると5連休があり会社関係が休みのため予約の入りが悪い。

悪くなっている	日本料理店	インフルエンザの影響か景気の影響でなのか少し判断がつきにくいですが、大企業の接待が極端に少ない。	
	タクシー運転手	利用が少ない。夜の客が少ない。	
	クリーニング店	近くの工場では週休3日制になっている。ワークシェアリングを導入しているそうだ。客も割り引きの曜日を忘れず10円20円の値段を細かくチェックしている。	
	室内装飾業	いくらかの物件があるようだが、このご時世、無理してまで家を建てる人がいない。	
企業	製造業（食料品）	高速道路1000円になる時が定期的に多くあり、やはりその影響は現れていると思う。お中元を宅配で送るというよりも、お盆に帰省の際お土産として済ます客がかなり増加した様に見えた。逆に、遠くからわざわざ来店してくれた客もいた。休日の来客は激減している。	
	雇用		
	民間職業紹介業	求職者（特に若年層）の登録数があまり増加しない。また、求人企業も求職者に対する条件的なものが高く、マッチングに結びつかない。	
	求人開拓員	9月現在、好転の兆しは見えない。鹿嶋臨海工業団地内の企業・事業所等へ求人開拓に向くも相変わらず求人獲得には至っていない。現時点では、工業団地内の製造業での求人は殆ど見込めない状況。製造業以外では介護・福祉・医療関係の求人は獲得出来るが、求職者が集まらず就職マッチングはかなり困難な状況である。いばらき就職支援センターへの求職相談者の中に良い人がいたら最優先で紹介してくれるよう依頼されているのが実情である。	
悪くなっている	家計	スーパー	売上前年割れ、客単価低下、必要な分だけ購入する状況。余分には購入しない。（特価品も数量減少）
		コンビニエンスストア	労働者数が減少していることを強く感じる。公共事業の減少とコンビナートで働く人の人数は明らかに減少しており、周辺コンビニの数値は改悪の方向が強い（全店的に）状況だ。
		コンビニエンスストア	天候不順などの要因もあるが、買い上げ点数が非常に低く、安いものしか売れない状況。特に8月お盆以降はよくない。
		タクシー運転手	平成11年1月、2種取得、2月初め就職、収入の低さに愕然。儉約節約の日常を余儀なくされた。が、日々のストレスと反比例。浪費も重ね、日常以外の出費に頭をかかえる事になった。要因は、収入の低さが全てである。
		パチンコ店	客の来店時間が遅く、滞留時間も短くなり使う金額が減少している。
企業	農業関係者	冷夏のため、野菜類全般が不作である。特に稲はかなりの打撃を受けている。本県の作況は平年並みの事だが、信じ難い。	
	建設業	新築着工件数がかなり減少している。世の中が不景気なので家を建てる人が少ない。ボーナスの減少や給料が減少しているので銀行の審査が通らないようだ。また、契約してもキャンセルも多いそうだ。	
	運輸業（道路貨物運送業）	仕事量が減少してきている。7月後半から在庫数量の減少が目立ち始めた。お盆明け決まる話が決まらず見積りだけの話となり、具体的に仕事の確保が出来なくなって来て、在庫減少につながって来ている。	
	不動産業	地価の下落が下げ止まらない。アパート・マンションの家賃の下落に空室率が25%以上に目立つ。	

(4) 県南地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良		製造業(非鉄金属)	メーカーより増産支持を急遽受け、現在フル稼働に近い。3か月前とは様変わりである。
やや良	家計	コンビニエンスストア	セール時や新規商品等、客が価値があると感じた商品に対する反応は良くなっていると思う。
		ガソリンスタンド	ガソリン数量の伸びが良くなっている。特に法人関係(建設業、運送業)の動きが良くなっている。
		ゴルフ場	事前予約が少ないと感じていたところ、直近になっての予約によりプレー来場者が増加してきた。
変わらない	家計	スーパー	青果物の高値が続き一品単価はやや上がるものの点数が増加せず横ばいである。
		スーパー	悪い状況のまま変わらない。入店客数はロープライス政策により増加しているが、1点当りの単価は下降傾向。買上率も下降傾向にあり依然として景気は回復しているとは思えない。
		コンビニエンスストア	買上点数客単価に大きな変動はなく、変わっていない。
		農産物直売所	大型ショッピングセンターの開店に伴い若干売上が前年に対しダウンしたが現在は回復しているが、1年前の伸び率には及ばない。客単価も若干減少している。
		専門スーパー	季節品の販売動向はよくなかったが、客が必要としている物に関しては要望するグレードにあった価格の物を購入している。景気が下降していれば修理や購入なしという流れが強いと思う。客数は伸びているが、単価は下落したままである。数値的な変化がない。
		洋食食堂	8月の売上げの減少が例年になく厳しいものであった。このような状況では景気が良くなっているとは考えられない。
		洋食食堂	ずっと変わらず店が静か。特に夜。
		都市型ホテル	婚礼・宴会について1人当たりの単価が変わっていない。
		旅行代理店	相変わらず厳しい状況だ。
		タクシー運転手	相変わらず夜に飲食している人も居ないし、昼間の用務客もバスなど安い交通機関を使っているようだ。実車率も上がっていない。
		タクシー運転手	3か月前と同様に、会社関係においては利用頻度は少なく夜においては、飲み屋関係のタクシー利用がまったく3か月前と変わらない。
		ゴルフ場	来場者は若干増加しているもののオン料金から夏季料金に移行しているため、変わらないと判断した。但し、季節的な要因を除くと少しだけ良いと言える。
		パチンコ店	最近の状況は売上客単価は横ばいであり、しばらくはこのままの感がある。
		建築設計事務所	総選挙前でもあり様子見。
住宅販売会社	客の購買意欲に変化が見られない。		
企業	農業関係者	現状に慣れてしまい良いも悪いも聞こえない。	
	製造業(食料品)	商店街、農家の景気の変化が特にならない。	
	製造業(飲料)	取引先と話をしても、良くなったという話は聞かない。	
	製造業(窯業・土石製品)	政府の経済危機対策で、一定の効果は出ていると思われるが、あまり変わっていないと感じられる。	
	製造業(一般機械器具)	期間社員、契約社員に対する休業措置を引き続き実行している。	
	建設業	一向に変化(上向)の傾向なし。報道関係のニュースにはほど遠いと思っている。一部上場企業8社～10社製造業の取引が30年近く続いているが、このような環境に陥る事はまだ続くものと覚悟している。明るい兆しなど我々の企業にはほど遠い。単価受注金額も安くなっているため利益も落ちる。	
	建設業(設備工事業)	ガソリン、材料が少しづつ値上がりし、材料に運送料の請求もされる時があり受注が少し増加しても利益率は変わらないので、景気も変わりがないと思う。	
	建設業	「景気が底を打ったのでは？」と言われて久しいと思うが、生活をしている中で景気が上向きになっていることが、依然、実感することが出来ない。	
	建設業(設備工事業)	資材の変動がない。	
	運輸業(倉庫業)	食品関係は、景気に左右されないと思っていたが前年比を下回っている。貨物の動きが全体的にみて前年と変わらないため、景気は上向いてこない。	
	金融業	設備投資に関する相談がほとんどなく、景気が良くなっている実感はない。	
不動産業	社内の各種実績データ(来客・契約件数・収益金額等)から見ても大きな変化は見られない。ただ何となく悪くなる消費者マインドは感じられるが今後の経済動向に要注意と思う。		
雇用	人材派遣業	在庫調整で生産自体は一時再開しているという様な感じだけで伸びているという印象は受けない。	
	求人広告	求人広告は増加することは無し。客の所で仕事が増加することも無く収入が無いので資金繰りが大変と多く聞く。	
	公共職業安定所	求人数の増加が無い状況。	
	学校就業関係者	当学院の職業訓練の応募状況は、3か月前に比べて若干の減少は感じられるものの、変化はない。6月からの訓練は、40名定員に146名の応募で、3.6倍であった。9月からの訓練は、20名定員に58名の応募で、2.9倍であった。離職理由は会社の倒産、リストラなどが多かった。	
	商店街代表者	来客の若い人達は給料も減少し残業もなく通勤用の車の燃料も値上げ傾向のため浪費が出来ないという人が多く景気の回復にはまだ至っていないように感じる。	

やや悪くなっている	家計	スーパー	相変わらず買い控えの傾向で、客単価が低下している。特売品の売上構成比が増加している。
		スーパー	競合値合せ等により一品単価が減少しており、客数は前年比で増加しているものの売上は厳しい状況である。
		スーパー	売上高が少しずつ減少している。
		家電販売店	今月の入店客数が6月と比較して1日の平均入店数で約3割減少していることも踏まえ、景気はやや悪くなっていると判断する。
		寿司店	建設業の話だが、新築の仕事が激減し、リフォームや直しの仕事は入ってくるが、私達がヒマだと仕事が回らないだろうな 本当にそうだと思う。
		都市型ホテル	例年利用していた企業が宴席利用のキャンセル等や単価を下げる依頼を打合せでできてきている状況である。企業の動きを見るに景気はやや悪くなっているように感じる。
		タクシー運転手	夜のお店関係からの需要が極端に減少した。会社関係でもタクシーの利用を控えていると思う。
		タクシー運転手	ここ数か月間営業回数も2割位減少し、また会社関係がまだ回復している兆しがない。また、夜の飲食関係が良くない。
		理・美容店	政権交代に対して期待もあるが、不安な面もあり今は消費も出し控えている感じがする。
企業	雇用	製造業（窯業・土石製品）	通勤で石岡から土浦市内に向かうため神立工業団地内から6号国道に合流するが、その地点（信号無し）で相当渋滞していたのがすぐに入れるようになった。夏休み中は休みのせいと思っていたが、9月になっても随分すいている感じがする。
		求人開拓員	各企業を訪問して景気が改善したという話は聞けない。反対に今まで影響の受けなかった企業がここに来て厳しくなったと聞く。
悪くなっている	家計	自動車販売店	全国の車の市場は100%だが、この地域は70%だ。
		和食食堂	7月～8月と客数が前年比を大幅にダウンしている。
		ゲームセンター	3か月前と比較して前年比の落ち込み幅が拡大しているので悪くなっていると思う。また来客数の減少も続いていて底が見えない状況だ。
企業	製造業（食料品）	客数と客単価が減少している。	
	製造業（印刷業）	売上の減少。	

(5) 県西地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	企業	製造業（食料品）	原料価格が安定していることと、能力のある新規勤務希望者を多数採用できているのでラインがスムーズに流れるようになった。製品の売れ行きも上昇している。	
やや良くなっている	家計	商店街代表者	客単価がいくらかずつ上がってきている。	
		家電販売店	昨年の9月に起きたサブプライムの景気悪化と比べ景気は良くなってきている。2011年7月に終了となる地上アナログ放送と波を受け、デジタル家電（液晶テレビ、DVDレコーダー）等が好調に売れている。	
		和食レストラン、割烹	顧客管理を始めて新規客数が増加したように思う。地元だけではなく遠方から来店する客も多い。	
		理・美容店	週休3日、4日という声が増減してきている。	
	企業	農業関係者	今の景気状況に慣れて来た事もあり、以前に比べ消費が動いてきている様に感じる。	
		製造業（電気機械器具）	作業量増により、各部署から増員の要望が出ている。	
不動産業		製造業の雇用状況が好転している。		
変わらない	家計	スーパー	客数の伸びは7月8月9月上旬を見ても変化がない。客単価は前年95%前後、平均単価は85%前後まで低下している。客の買物指数はディスカウント商品、日替商品が相変わらず中心で、3か月前と大きな変化は見られない。	
		コンビニエンスストア	現況の価格志向が強まる中で販売単価を下げた商品はある程度販売にはつながるが絶対数が伸びないため、結局底上げになっていない。	
		農産物直売所	野菜などについては通常とそれほど大きな変化はないが嗜好品については若干買い控えされているようである。	
		ガソリンスタンド	特に夜間（19時以降）の交通量、来店客が減少している。また、土日の来店客も少ない。	
		和食食堂	来客数、売上げ共に横ばい状態。	
		和食食堂	売上も客数も変わらない。	
		都市型ホテル	予約状況に変化がみられない。また、客単価も横ばいで変化がない。	
		ビジネスホテル	今のところ大きな変化がみられず企業の設備投資や新規出店の動きは見られない。	
		タクシー運転手	以前に比べて、少しは良くなったと思われたが、お盆の連休後は動きが悪くなり駅での待機時間が長くなった。	
		タクシー運転手	依然営収が減少したまま変わらない。	
		ドライブイン	来客数、売上とも今のところ変化はないが、初のシルバーウィークが良い結果に結び付けてくれる事を期待している。	
		ゴルフ場	予約状況・売上・会員権販売（動向・価格）から見て相変わらず横ばいである。	
		レジャー施設	団体客、ビジネス客の減少が止まらない。	
		理・美容店	予約制のため、人数はすぐ把握できるが比較してみると来店に個々のリズムがありそれが変化していない。	
		建築設計事務所	前の状況が悪かったのがこれ以上悪くなりようがないのではと思う。これからは何らかの影響があれば良くなるのではと思う。	
		住宅販売会社	前回よりは悪くなっている印象はない。（かといって良くなっている訳でもない）	
		企業	農業関係者	会社関係の人が窓口に来所して話を聞くと、以前とかかわらず週4日に働くことができないとのこと、先行に不安がみられるとのこと。生産者としては天気が良く順調な作況生育をしている。10月中旬以降の秋冬白菜の価格不安を見ている人が多い。
			製造業（印刷・同関連業）	衆議院議員の選挙特需や、市の経済対策事業の一環である印刷物を受注出来たのでほっとしている。なかったと思うと「ぞっとする・・・」それにしても地方の景気はどうにかならないものかといつもいつも考えているがどうにもならない。自民党が大敗し、民主党の政権になるが、景気対策はどうなることやら・・・。高速道路の無料化、子供手当等、財源はどうするのだろうか？
製造業（化学工業）	この2～3か月は半導体、エレクトロニクス関連で動きがあったが、その動きにやや蔭りがでてきている。一方、車載関連（特にハイブリット関連）の需要が大きく伸びてきている。			
製造業（窯業・土石製品）	同じような状況でありあまり変化が見られない。			
製造業（金属製品）	売り上げ、受注残、引き合い共に変化は感じられない。			
製造業（印刷・同関連業）	新聞折込が（商業チラシ）量販店以外は大幅に減少している。			
雇用	求人広告	仕事が無く求職が増加するのみ。雇用が増加してこない限り景気は回復しないのでは！		
	学校就業関係者	求人票の受付期間中であるが、企業からの問い合わせが少なく、求職者に対して、十分な求人が集まっていない。企業は、新規採用を手控えている感じがする。企業活動は、低迷のまま横ばいの状況にあると感じる。		
	就職相談員	募集を出すと定員をはるかに超える応募があり担当者も大変驚いている。それだけ求人が減少している。		
	商店街代表者	来店客数が減少している。少しでも安く購入したい様子。しかし商品が気に入ってもらえれば価格は気にしない様子。		
	寝具販売	パートやアルバイトの仕事は、まあまああるが、正規雇用の仕事が少ないようだ。特に筑西市や下妻市が悪いようだ。		

やや悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	天候気温が季節（夏）の割に安定しなかったために、コンビニエンスストアの一番稼ぎ時であるが、例年に比べ客が少なかった。例年との差も3か月前より悪化している。商品単価も低下してはいるが、客も無駄なもの、プラス一品で品物を日に日に購入しなくなっている。
		衣料品販売店	買上げ平均単価が減少している。
		自動車販売店	廃車を伴う新車購入補助金が今年度は底をつき全ての客に支給できないだろうという報道から波が引くように成約が減少した。
		専門スーパー	客数、点数、1人当たりの購入額の減少。
		和食食堂	8月9月を通して予約状況が悪化している。また、秋の行楽シーズンで旅行に出かける人が多くなり町全体がひっそりしているためやや悪くなっていると判断する。
		タクシー運転手	来客数がやや減少してきている。会社関係の使用回数が減少しているため。
		ドライブイン	客の買い控えが続いている。必要な物だけ購入している。
		ゴルフ場	予約状況より。
	企業	製造業（食料品）	客足が遠のいているため。
		製造業（印刷・同関連業）	デフレ傾向が止まらない。値段を下げる以外に受注の手段がなくなりつつある。
建設業		政治も民主党に変わり、ごたごたしている中まだまだ景気は下降するばかりだ。	
金融業		自動車製造・販売台数は、前年同月比より改善された旨があるも、近隣の経済状況に於いては、まだまだ先が見えず依然として、消費・設備投資に控えが見える。	
雇用	人材派遣業	人材の増員が増えないため。	
悪くなっている	家計	スーパー	客の買物の動向が厳しくなっている。すなわち1人当たりの買い上げ点数が減少している。
		旅行代理店	客が激減している。団体旅行、個人（家族）もほとんどない。高速料金が土日1,000円になったため、土日の旅行客が減少している。土日忙しくしてほしい。
		タクシー運転手	国の政治が悪いため。
		パチンコ店	客数の減少、売上げの低下。
		ゲームセンター	客数、客単価の減少、また客が給料カットされたなどの話を聞いたため。
		クリーニング店	客の来店数が減少している。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	本来ならば、8月9月は繁忙期なのだが、残念なことに注文発注先が受注量が少なく、仕事が回って来ない現状だ。我々の業種業態は消費材ではないので不況の波をまともに受けやすい。
		製造業（一般機械器具）	自動車関係は4月頃から悪化している。年度切り替えの為との話しだ。お菓子関係は景気にとらわれない。良くもなく悪くもなく。
		運輸業（道路貨物運送業）	協電組立の仕事がない。その他では自動車産業が今一歩だ。

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	観光型ホテル	3ヶ月先というと12月となるので、忘年会や季節的に宿泊客も増加するため。
やや良くなっている	家計	スナック	年末になるので忘年会など飲みに来る回数、客の人数が増加するかも、それがなければ変わらないような気がする。
		和食食堂	近くの体育館で技能オリンピックが行われるので期待している。やはりイベントがあれば。売上も伸びると思う。
		観光型ホテル	忘年会、新年会等の問い合わせが去年よりも増加している。予約も昨年並みか上回ると思われる。
	企業	水産業関係者	現況より海流の変化が有、漁場の形成が有ることを確信する。
		製造業（電気機械器具）	出張、商談の回数が増加しているため。
雇用	学校就職関係者	産業も車関係等ハイブリットなどで、かなり持ち替えている雰囲気があるので、少しは改善されそう。	
変わらない	家計	商店街代表者	良くなると思われる材料がない。
		スーパー	個人消費が上がってこない。
		スーパー	政策が決定して実施されてもどう動くかさっぱりわからない。
		衣料品販売店	今後必要な時期に必要なものしか購入しないと思われる。引き続き低プライスを中心となると思われる。
		金物・荒物・建築資材	建築現場等の見積が無い。
		自動車販売店	やや良くなったという感じはあるが、横ばい状態でそれ以上の伸びは期待できない。
		ガソリンスタンド	悪く変わらない。
		小売業（酒類）	所得が伸びず、低価格商品へ集中。地元の製造業は仕事量低水準のまま推移傾向。
		小売業（水産物）	以前同様に、まとめ買いもほとんどない。
		小売業（靴製品）	売上げの数字の予測をすると。
		タクシー運転手	この先も企業や商店街が景気回復しない限り良くなりそうに感じない。
		タクシー運転手	地元企業の、タクシー使用頻度に変化が起るとは予想しにくいので、変わらないと思う。
		ドライブイン	高速料金（ETC）割引は、結果良い事業所と悪い事業所の明暗が分かれている様子。全然高速を使わない人も。客はより安値のものを求めている。自分の所は変わらないあるいはやや悪いぐらい。
		ゴルフ場	前年実績と照らし合わせても増加は見込めず、客単価においての前年割れは避けられない状況にある。
	パチンコ店	パチンコ業界に大きな変化が無いが良くなって行く事は難しい。物が売れない限り、出て行くお金を守る事が必要になってくるので、売上げを伸ばす手は難しい時季だ。	
	レジャー施設	秋の団体の予約受付状況が例年通りとなっている為。	
	ゴルフ場	現時点での3か月先の予約ペースは、前年比でややプラスの状況。政権交代も有り景気の更なる回復を期待する。	
	理・美容店	時期的要因で若干売上増の月はあるものの例年のことで景気による上昇とは判断出来ず結果、変わらない。	
	住宅販売会社	即効力のある景気対策は難しいと思う。	
	企業	林業関係者	今後も現状と変わらないと思う。
製造業（一般機械器具）		受注から出荷まで納期が比較的長い製品を扱っているが、昨年比でも受注は同水準であるから。	
製造業（電気機械器具）		既存及び新規取引様からの生産計画に大きな変化は無く、現状維持か若干のプラスが期待される程度。今後も変わらない状況が継続するものと思われる。下期に向けた価格の協定（値下げ要求）もある。また原材料（ステンレス・一般鋼材）の値上げの動きもあり、非常に気になるところである。	
製造業（電気機械器具）		今の状況が変わるような受注物件、作業がない。	
製造業（電気機械器具）		民主党の政権になってどのようになってゆくのか。良くなるのか悪くなるのかわからない。	
製造業（輸送用機械器具）		北米の景気回復は一部にピックアップトラックの販売拡大等の好転情報もあるが、一方、新車購入による税金還付が8月終了等のマイナス要因もあり、短期間に回復する見込みは薄く、予測が難しい状況。	
建設業		今後の政策によりどう影響が出るのか不透明のため、予測は難しい。	
運輸業		地元企業等在来の顧客の貨物量は減少しているものの、常陸那珂港に船が来るので、新たな需要で貨物量を回復出来ると見込んでいる。	
情報通信業（情報サービス業）		政権交代による景気回復に期待するが、当分の状態が続くと思われる。	
金融業		景気回復の具体的要素が無く、今後の先行きについて不透明の状況にある。	
運輸附帯サービス業		都市再開発、公共投資、デベロカッパーなどの景気動向がすぐに反映されないため。	
公共職業安定所	世界経済危機の影響による景気の低迷から依然として製造業関係からの求人の減少幅が大きいため。		

や や 悪 く な っ て い る	雇用	就職相談員	車産業界では、E C O自動車ブームによって多少は上昇機運が出てきているが、現実には、まだまだ厳しい状況が続くとの話題が多い。	
	家計	コンビニエンスストア	冬の賞与も厳しくなることが予測され、政権交代となっても先行き不安は軽減されない。年末年始を控えて、その前の出費を抑える傾向が強まることが予測され、節約志向は更に強まると思う。	
		衣料品販売店	この状態が続けば、廃業する店が出てくるだろう。	
		タクシー運転手	今の状態がしばらく続くと思うので、3か月先の景気はやや悪くなっていると思う。	
		ゴルフ場	新しい政権のスタートにあたり、政治、生活への不安が来場者に影響してくることが懸念材料である。今の来場者予約状況によると前年比-10%の落ち込みを覚悟しないと次の手が打てない。特に単価競争厳しくなる。	
	企業	製造業（製缶）	取引先より'09/下期（10月以降）の作業量が現時より下がると聞いている。	
		製造業（電気機械器具）	受注案件が少ない。	
		製造業（電気機械器具）	下期に入り生産計画は多少上向きだが、モデルチェンジ等により生産数量の減少が見込まれる。	
	雇用	求人広告	良くなる理由がない。	
	悪 く な っ て い る	家計	観光型ホテル	夏の天候不順のため、米、野菜が不良で価格も上昇している。
			クリーニング店	客の日常会話などからも景気の良い話はほとんど無い。
		企業	製造業（電気機械器具）	景気回復の兆しが全然見えてこない。先行き不透明である。

(2) 県央地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良				
やや良くなっている	家計	商店街代表者	政権交代による多少の期待感がある。	
		百貨店、総合スーパー	6、7、8月と若干であるが上向きであり、今後3か月も同じ様な動きを見せると思われる。特別に何が大きく売れるとは思わないが。	
		割烹料理店	政治も変わり、何とか良くなって欲しいと願う気持ちから。	
		ゴルフ場	例年のとおりゴルフをするには、良いシーズンとなって来るので期待感をもっている。	
		理・美容店	いつも通りの回答しか思いあたらない。	
	企業	製造業(精密機械器具)	9月から環境エコ商品の新製品を発売するので、その効果に期待している。	
		運輸業(道路貨物運送業)	エコカーの税制優遇により、自動車関連の原材料の生産を後期より増やす計画と聞いている。	
	雇用	人材派遣業	製造業において、生産量が以前より持ち直している。	
	変わらない	家計	百貨店、総合スーパー	雇用環境の改善や所得の増加が見込まれないうちは、厳しい状況が続くものと思われる。
			スーパー	政権、政策が変わっても、マニフェストを実行するだけの財力があるとは思えず、良くなるとは思えない。
スーパー			見通しが立たない。	
スーパー			政権が変わったが、政策実施とその影響は、さらに先になると思われる。	
農産物直売所			必要な物しか買わないのはこれまでと同じではないか。	
専門スーパー			冬のボーナスの状況がすでに良くないと思われるので、現状のような状態が続くと思われる。昨年と比べ、石油関連消費の増加する灯油などは安定すると思えるが、その分が別のものに回るとは思えない状況。	
レストラン			選挙が終わり今後どの様になっていくのかまだ分からずそれほど大きく景気が上向くとは思えない。予約を見ても延びていない。	
都市型ホテル			個人利用者はクリスマス、年末年始もあり活発に行動することが予想される。	
都市型ホテル			良くなることを期待したいが、短期の回復は、現在の予約状況のみを限り変わらないと思う。	
観光型ホテル			先行の団体予約に動きが見られるようになったが、新型インフルエンザなどの影響も考えられ総体的には昨年同様と思われる。	
タクシー運転手			昼、夜の営業回数が減少している。	
タクシー運転手			変わらないと思うが、新政権に期待したい。	
タクシー運転手			仕事につけない、また仕事があっても賃金が低く押さえられたままで、消費にまわす金に余裕がないと多くの人が言う。県内からの客の反応は・・・良くなっている話は一人としていない!	
タクシー運転手			客との会話でも、政権交代になってもしばらくは上昇しないだろうと言う見方が大半である。よって、まだ3か月位では変わらないと判断できる。	
観光名所			秋の予約状況は例年並に延びてきているが、若干弱含みか?	
パチンコ店			良くなる要因が見当たらない。本来、下がると思われる所だが、シルバーウィークや農家の収穫により、自店の売上につながると想定し、変わらない状況になると思われる。	
レジャー施設			政権交代による期待感はあるが、入場者の動向をみると良くなる要因が見当たらない。また、売店や飲食の購買単価も変動はみられないため、今後も変わらないと思う。	
理・美容店			9月～は、暇な日が続くと思う。土・日・祝日は1000円のでるので、町の中はさびしい。	
住宅販売会社			今年度中はまだ変わらないと思われる。	
企業		農業関係者	特に変化がない。	
	製造業(印刷・同関連業)	新規受注が無いため。		
	製造業(窯業・土石製品)	発注工事が減少しているうえ、価格競争激化により、収益性の悪い工事を受注せざるを得ない状況が続くと思われる。		
	製造業(金属製品)	民間工事が極端に少なく、本格的な回復は来年春以降と思われるから。		
	情報通信業(情報サービス業)	顧客とする製造業に、若干ではあるが回復基調を感じるが、従来の落ち込み分のカバーと、期待する利鞘確保までは、道のりは遠いとのことである。しかし、物が動けば市場は活性化するものであり、製造業には大いに期待したい。一部の顧客には、在庫一掃などの効果により、身軽になった様子も見受けられるが、先行きについては余り明るい話を聞くことが出来ない。年間所得のマイナスがマスコミで報じられており、年末にかけての個人消費も今ひとつ伸び悩むのではないかと。		
	金融業	改善すると思っている人は圧倒的に少ない。消費が活発になる見込みはなく、店主たちも現状維持がやっとの状態にあるため、街が活気づくことは予想しがたい。		
	不動産業	3か月間という短い期間での変化はないであろう。		
	サービス業(コンサルティング業)	景気に関して良い材料が少なく、今の厳しい状況が続くと思われる。家計においては、依然として必要でない物の購入を控えたり、次の購入までの期間が長くなっており、今後も節約傾向が続くと思われる。		
	求人広告	多少、全国ベースで見ると景気回復してるようだが、雇用状態が良くならない。今の現状では3か月先はまだ回復は早い。		
	雇用			

やや悪くなっている	雇用	就職相談員	企業の求人意欲は、4月・5月を100とした場合 8月度は80である。企業も先行き不安から求人意欲が低いように思われる。
	家計	商店街代表者	政権交代で景気回復と思っていた県民が多いが、政治空白が長く続き期待感が薄れつつあり先行き不安があり、必要以外のものを購入しない傾向がある。商店街で閉店したり撤退を考えている店が多い。
		スーパー	大手製造業で回復している様な報道はあるが、人の採用の話はなく、消費には向かわない。
		家電販売店	今月は休みの日が多いが個人商店には仲々来店してもらえず大型店に行くのが多い。
		自動車販売店	夏のボーナスが減少し購入時期も伸びる傾向にある。
		専門スーパー	明るい要素が見当たらない為。
		レストラン	客単価の減少は変わらず、高齢化も進み、質素な生活をおくる人も多くなっていると感じる。
		ファミリーレストラン	現状から3か月後(9～12月)の見積書を参照すると前年または春先と比較しても金額が減少している。また、受注ベースでも予約状況が厳しいことも考えると、景気はやや悪くなっていると考えられる。
		ドライブイン	良くなる状況が見当たらない。販売促進策を行い、収支のバランスを図る。
		ドライブイン	前年に比べても、客(一般、団体)イベントがある時期は集客はできるがこれから年末にかけ近辺でのイベントがないので。
建築設計事務所	慣れない新政権のスタートは景気も足踏みまたはブレーキになるのではと想定される。		
企業	製造業(食料品)	政権交代があったので、しばらくは景気が悪くなると思うが、その後は回復すると思われる。	
	製造業(一般機械器具)	当社を取りまく顧客、それぞれまだまだ。建設機械10月ごろから50%の生産計画の様だ。	
	建設業	民主党の政策で公共工事の減少が予想される。	
雇用	公共職業安定所	雇用調整助成金を活用し、休業を実施中の事業所数が一向に減少しない。また、製造業の中小企業では「未だ受注量回復の兆しが見えてこない」という声が多く聞かれる。	
	学校就職関係者	消費材、特に食料品の値上がりで、買え控えを始めようと思っているから。	
悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	景気が回復しないから。
		旅行代理店	旅行業にとって新型インフルエンザの流行は、春先から大きなマイナス要因となっており、2003年のSARS(新型肺炎)以上の業績悪化をもたらしている。先行受注が前年比で大きく低下している。秋から冬に向かう3か月間に大きな不安を感じている。
		パチンコ店	毎年のものであるが9月より運動会、終われば行楽シーズンと続き来店客数は減少する傾向にあるが、今年は以前にも増して先行きを考えるとお金を使えないとの声も聞こえるので、現状よりも悪くなると思う。
企業	製造業(食料品)	顧客の購買行動を見ると、価格の安いものだけが動くという感じがする。	
	製造業(印刷・関連業)	良くなる要素が見当たらない為。	
	サービス業(広告業)	今期の業績回復は無理だろうとのあきらめムードが強い。	

(3) 鹿行地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良			
やや良くなっている	家計	衣料品販売店	8月末までは売上として苦戦したが、9月に入ってから前年比をやや上回ってのスタートが切れた。このまま少しずつ回復していくのを期待する。
		割烹料理店	当店としてはまだ感じないが、「最近忙しいでしょう」と客によく言われるので企業の中では活発に仕事が進んでいるようなので、順調に行けば忙しくなるのでは。
		タクシー運転手	新政権になってどう変わるか判らない？
		タクシー運転手	9月は休日が多く売上が減少すると思う。新政権も変わり景気が良くなる事に期待したい。
	企業	製造業（食料品）	年末を控えて例年通りお歳暮、正月用品の需要が見込まれるが、年々減少傾向にある。
		製造業（化学工業）	定修工事も完了し、増産が見込める。経費削減の効果も出てくるのではと思う。
		製造業（鉄鋼業）	急激な回復は望めないものの、回復の傾向があると感じる。
	サービス業	自動車の需要がやや回復しつつあり、在庫調整も進んでいることから年度末に向けて回復していくものとする。	
変わらない	家計	商店街代表者	食料の自給率も何とか40%をやや超えることが出来たが、先進国は殆ど90%以上だ。工業製品も安ければ良いと追求し、外国移転するはいからでは国内的にはお互いに、貧しくなり錯覚社会のグローバル化空洞化の症状を呈して来た。早急に国内産業の充実を計る時と思われる。明るい未来型の行政地域振興は目の前に在る。
		スーパー	全体的に収入が減少、買い控えが続く。現在労働時間も削減している。
		スーパー	景気は良くなる様な客との会話では無い。働く場所が少ないとの話だ。
		コンビニエンスストア	自治体や企業が雇用促進策を講じない限りで、消費指数は何も変わらないと感じる。失業している人も多く、消費につながる刺激策が無ければ今のところ何も変わらないと思う。
		家電販売店	景気全体が良くない中で今後の3か月では変わらないと思う。家電製品生活必要商品が多いので故障したり買い替えはあるが新商品をすぐに購入しようと言う客が多少減少している様に思う。
		自動車販売店	E T C等の取付けも部品入荷が遅れていたが、今は在庫の確認も減少してきている。
		小売業（菓子販売店）	天候不順などで砂糖など値上げなどがあり、大幅な利益アップが見込めない。高速道路の値下げにより、土日祝日等は行楽地へ出かけたりと、地元で買物をする人が少ないように思う。
		小売業（酒類）	良くなる材料が見当たらない。
		洋食食堂	客数減が続いている。前年売上をクリアできない。
		日本料理店	明るい兆候が特に何も聞かない。
		タクシー運転手	現在も、日常に支障をきたしている。自分の収入だけでは日常が成り立たない。
		タクシー運転手	良くはならない。
		ドライブイン	国民の社会への不安がさらに解消されない限り、目立った景気の回復は見込めないと思う。
	理・美容店	店の回りは農業が盛んな所なのだが、まず、農家の人達が景気が良くなると客足が悪いと思う。	
	理・美容店	各家庭における支出の割合でサービス業（特に美容業）に対する支出というのは抑えぎみと思われる。今後もその考え方は急速に変わらないと思う。	
	室内装飾業	今回の衆議院議員選挙で政権が入れ替わったが、景気回復になるまでは相当、時間が必要だと思う。しかし、民主党の政策に期待をし景気回復を願う！	
	住宅販売会社	新政権の影響もおそらくすぐには出てこないだろうと思われる。	
	住宅販売会社	3か月と考えると変化はないように思える。	
	企業	農業関係者	異常気象のため、根菜類の不作は深刻であろう。例年、根菜は安定した成長を見せるが、今年ほど成育の思わしくない年は稀である。
水産業関係者		盛漁期に入るため、季節要因による変化はあるものの、その他の要素は見当たらない。	
製造業（食料品）		政権交代しても、具体化されるまでには時間がかかると思う。良くて悪くても、世の中そんなに甘くはない、先は見えないのは変わらないのは同様だと思う。	
製造業（印刷・同関連業）		変わると思われる事が無い。	
製造業（化学工業）		今後出荷量を維持できるか、それとも稼働が落ちるような事態になるかは、現時点では読めない。原油価格や為替の動向も合わせると、非常に不透明である。	
金融業		季節資金の需要がある企業はやや上向きに推移するものと思われるが、一般企業については消費者の資金需要が無く、企業戦略も無い為、今後も現状維持にて推移するものと判断する。	
雇用	人材派遣業	民主党政権と連立政権に民間企業及び国民の立場からは、不安と先行きに対する動きに模様眺めの状況が続くと見られ大きな変化は見られないと思う。逆に生活不安から、さらに財布のヒモが固くならないかとの見かたもあり、需要動向に注視している。	
	民間職業紹介業	当地域の雇用情勢から考えてもなかなかマッチングが難しい感がある。	
	学校就職関係者	求人受付が今後どうなるか分からないが、今の段階では予想がつかない。	

		求人開拓員	当地区においては3か月先に於いても、現状と変わる要素は見出せない状況にある。政権交代により雇用情勢の急激な変化に期待するが、現状では不透明。特に、常陸鹿嶋ハローワーク情報によると来春の高校卒業予定者の就職内定率等は、昨年度より落ち込みが激しく、鹿島臨海コンビナートの企業においても、景気回復とは縁遠い話と思われる。
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	年末にかけて近隣の市に大型SCがオープン予定。当市への来街者の減少が予想される。
		商店街代表者	ニュースにも出ているが、デフレが進行する気がする。
		小売業（薬品店）	新型インフルエンザの大流行で消費は落ち込むと思う。
		小売業（金物店）	輸出が減少しているので設備にお金をかけない企業が多いため。また公共事業費の削減によって工事を行っている現場が少ないため。
		小売業（書店）	依然として客足は遠のいている。雑誌が売れない。コミックも下降ぎみ、TV化、映画化、したもの在庫確保がうまくできれば良いが、出版者が追いついてこない。書店、卸、出版社の連携がうまく取れなければ先が厳しい。
		レジャー施設	秋から冬にかけて、収穫の時期（米・松・センリョウ）により利用者は減少と思われるので景気はやや悪くなると思う。
		クリーニング店	農家の人は、天候が悪かったので、作物がとれなく良い作物が出きない。毛布、ジュータンなどのクリーニングが減少している。コインランドリーで洗っているようだ。
企業	企業	製造業（飼料）	畜産価格の低迷と在庫数量の増加が顕著になっている。
		保険業	米作兼業農家の多いところなので米価が今年も安い越光13,000円秋田小町12,500円高い肥料で作っている。
		不動産業	アパートの入居率の低下。住宅地の買入に不安がある（雇用の問題）。
悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	客の購買意欲は、政治不安や将来への不安、経済不安などで非常に低下している。今後ともに厳しい状況が続くと思う。
		農産物直売所	公務員の給与カット等が実施されると思われるから。
		パチンコ店	平日の集客低下に加え、土日の集客も弱まっている。
企業	企業	建設業	先を考えてもよくなっていく要素が見当たらない。どうなるのかわからない。
		運輸業（道路貨物運送業）	8月末まで総選挙の影響で貨物の動きが鈍いと判断して来たが、政権交代の影響で厳しくなると感じている。このところ単価値引きの話がまた出て来ている。非常にやりづらい、難しい局面となって来ると思っている。

(4) 県南地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良			
やや良くなっている	家計	家電販売店	このところ通常月に関しては、ニーズの財布も固い傾向が見受けられるが、年末等は客単価の減少には至るものの買上率が上昇傾向となるため、景気はやや良くなっていると判断する。
		ガソリンスタンド	今年までは上向きで行くのではないかと思う。原油の高騰もやや落ち着いているので燃料油価格も急激な変動はないと思う。
		洋食食堂	インターネットにより他県の観光会社より弁当の注文が入ってくるようになった。早朝5時という場合もあるありがたい事である。
		都市型ホテル	忘年会の予約をみると単価については変化がないが前年比とくらべると多少ではあるが件数が増加している。
		ゴルフ場	12月の前半の土日は、すでに70%近く予約が入っている。例年忘年コンペなど実施している客が同様の計画をしていると思われる。例年より入りが早いと思われるため、やや良くなっていると思われる。
		建築設計事務所	民主党政権に期待したい。
企業	製造業(非鉄金属)	現時点では、受注は増加傾向にあるが、メーカー側の輸出が回復しているため、国内の販売は、それほどでもない。いつ減産指示が来るのか不安な面もある。	
雇用	公共職業安定所	雇用調整中の会社で受注が少しずつ増加しているとの情報有。	
変わらない	家計	商店街代表者	景気が良くなってくれる事を願うが都市部と地方では回復には時間差があり、また節約志向を反映して支出金額も抑え気味で消費の向上はまだ先のように思われる。
		スーパー	年末、お歳暮、クリスマス等のイベントはあるが、売上回復の兆しがない。また従業員の家族等の話も聞くが、景気が良くなりそうにない。
		スーパー	良くなる要素がない。
		スーパー	製造業で回復の報道があるが、失業率は全く回復しておらず今後3か月先も景気回復はないと思う。
		コンビニエンスストア	客単価の前年割れは続いており、低価格商品へのニーズの高まりは今後も継続していくと思う。客の節約志向はしばらく続く。
		自動車販売店	大きく輸出が良くならなければこの土域はダメ。
		農産物直売所	政権交代により現在は様子を見ている消費者が多いように思われる現状では予測がつかない。
		専門スーパー	衆議院選挙での政権交代があるが、経済的に3か月で大きな変化は出ないと思う。また、新型インフルエンザ感染患者数、がこれから増加傾向になると思われる季節であり、外出は大きく望めないと思われるため。
		和食食堂	政治の不安定と現状を見て。
		洋食食堂	このままの状態でごつと頑張っていくしかかからないと思うしかやっていく手段が見つからない。法事、祝い事等の客単価が1年前位から半分になってきている。酒類も出ず利益率の減少は止まらない。
		タクシー運転手	民主党が政権をとったので自民の頃より景気が悪くなる気がする。ただ悪い政権を廃止してくれれば例えば老人の客がかえって来る感じもする。
		タクシー運転手	年末はタクシーの需要が増加する時期であるがそれは毎年のことである。
		タクシー運転手	全体的に景気が向上かないかぎり変わらないと思う。
		ゴルフ場	予約等から見ると都合がつけばプレーをするスタイルは変わらない。事前予約の反応が悪いのはそのせいかと思える。ただし、状況(客の業況)が若干上向いてはいるようだ。
		パチンコ店	良くなる事を期待したいが、このままの状態がしばらく続くと思う。
		理・美容店	補正予算など国の政権にも、まだ、実行されるまでの日数がかかるため長目で見てまだ景気のよし悪しの判断がつかない。
		住宅販売会社	景気浮揚の期待感はあるが、早くても来年度になるのではないか。
		企業	製造業(食料品)
製造業(食料品)	8、9月は景気の落ち込みがひどく、先行き良くなる要素が無い。		
製造業(窯業・土石製品)	新政府の経済対策がどの程度出てくるのか先行きが見えない。		
製造業(一般機械器具)	良くなる要因がない。		
建設業	情報の広さでは上場企業は抜群のはず、それが1か月、2か月、半年先、こうなるという内容の話(上向きの事)がまったくない。まだまだ厳しいですよ、本社からの指示が出ません、予算は出ません、ということしか言われぬ、我社もいくら良くなって来ていますから、もう少し待ってほしい・・・という会社1社もなく。		
建設業	政権の交代もあり、補正予算も見直すということなので、願望も込めて、これ以上変わってほしくない。		
建設業(設備工事業)	公の仕事が前年より減少ではあるが、それほどの変動はな思える。		
運輸業(倉庫業)	貨物の動きは、今後3か月先を考えてもあまり変わらないと思われる。国内、輸入原料の動きも平均化しているし、減少の荷主もある。販売状況を聞いても伸びる話は見当たらない。物流業にとっては今後も厳しい要素が出てくると思われる。		

	金融業	取引先の資金繰りについても改善されているとはいえ、良くなっているとは思えない。
	不動産業	世界の経済動向・日本の経済動向、金融・株価の動向と新政府への期待感と不安感が入り乱れてプラスマイナスゼロで変わらないと思う。
	雇用	
	人材派遣業	クライアント担当者との話で年内の生産は大分見えているので良い話はほとんどない。
	求人広告	大手の景気はある程度回復したようだが個人商店などに影響するのは半年はかかると思う。
	学校就職関係者	一時に比べ景気の底打ち感はあるものの、今後の見通しもつかない印象があるため。
やや悪くなっている	家計	
	スーパー	相次いで値下げにより利益率が減少しており、引き続き厳しい状況だと思う。
	スーパー	業績不振により賞与の大幅が見込まれるため、今年の年末商戦は厳しいと思われる。
	コンビニエンスストア	政治不透明、給与減により、客の心持はマイナス傾向。本来上昇するタイミングで単価、点数に変化が見られておらず、今後も厳しいことが予想される。一時的なものかもしれないが、政権交代による予算の縮小などで何らかの影響が出る。(市内は、国の機関が多い)
	都市型ホテル	12月の忘年会シーズンとなる3か月先で、中小企業で忘年会を取りやめにする等悪くなっていくように思われた。
	旅行代理店	民主党が政権交代したことにより政策が変われば一時的にでも景気は悪くなるのではないかと。
	旅行代理店	今月に入ってから、9月の毎日の販売額も前年比80%の状況になっている。単価減の傾向だ。
	タクシー運転手	飲食関係が良くならないかぎり、夜の仕事が増えなければ営業も増えず、先の見通しは暗いと思う。また、会社関係もすぐには良くならないと思う。
ゲームセンター	3か月先の12月は学生等が冬休みに入る時期なので売上、来客数がいつもの日より増加するが、それは毎年の事だ。土曜日、日曜日の売上、来客数の減少傾向が続いているのでやや悪くなっていると思う。	
企業	農業関係者	経済の方向性が見えず、農業に対する政策もどの様に変化するのかわからない不安な状況。
	建設業(設備工事業)	10月11月頃に仕事予定の話が進んでいたが、工場関係は選挙後増改修工事の先送り、または中止がみられ予定の仕事が減少しているため景気はやや悪くなると思う。集金業務を担当している人も毎月決まった日に行っても目標集金が難しいため景気はやや悪くなっていると思う。
雇用	求人開拓員	求人が減少する一方で、求職者が増加し、就職できない状況が続いている。企業でも今は雇用助成金で何とか雇用を維持しているが、今後は正規社員のリストラもありうるとの事を聞く。
悪くなっている	家計	
	寿司店	もっと仕事量が減少するのではないかと予測している様子だ。
	企業	
	製造業(印刷業)	先が見えない。
	製造業(窯業・土石製品)	政権が変わり政策決定の手続き等が変化するなど、これらが落ち着かないと企業活動も方向が定まらないし、また予算執行も当然遅れると思う。また、エコポイントなどで一部の業界では良い影響を受けているが、国全体にはとてもその恩恵が届いているとはとても感じられない。

(5) 県西地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	商店街代表者	政権交代し誰も未知に対する期待感があると思うので。(もちろん不安感もあるが・・・)
やや良くなっている	家計	商店街代表者	年末、年始に向けての期待を込めて。
		家電販売店	政府エコポイント施策により、来年の3月末までは家電業界は回復傾向。
		和食食堂	忘年会シーズンであり忙しくなるのではないかと思います。しかし、客単価や利益率は年々減少傾向にあるが期待を込めてやや良くなってくると思う。
		和食レストラン、割烹	政権交代があったので世の中の動きも変化してくるのではないかと思います。多少景気回復の様子が見られれば12月と言うこともあり客数は昨年と比べて伸びると思う。
		ビジネスホテル	家電量販店の新規出店やコンビニ等の出店もあり、企業の在庫調整などが進み、新しい動きが出るような状況が感じられる。
		タクシー運転手	政権が変わり、補正予算執行停止が危惧される。それにより、上向きかけた景気が足踏み状態にならないか。また、冬にかけて新型インフルエンザの流行により、外出を控えるようになり、タクシーの利用も少なくなるのではないかと。
		タクシー運転手	政権交代もあり少しは期待したい。
企業	企業	農業関係者	総選挙の結果もあり、何らかの変化が出て来るものと見られる。
		不動産業	賃貸・売買とも高額物件に動きがでてきた。
変わらない	家計	スーパー	政権交代に対する期待と不安。今後を見極めようとする動きが交錯し、今後3か月においても大きな変化は期待できない。
		寝具販売	客の意見等から判断して良いのはエコカー、液晶テレビ等で廻りの企業は中小企業で、仕事量は少なく上向くことはないようだ。
		コンビニエンスストア	現在の今後の景気判断を見ても一般消費者の財布がすぐに潤ってくるとは思えない。店舗としても、売上が低迷する中で減少になりつつあり外的要因、内的要因現状を維持(昨年を)維持するので必死な状況。職が無い客なども多数来店しており先行きが不安。
		コンビニエンスストア	続く不況の中でも将来性のある商品、製品の購入意欲は旺盛になってきている。売筋商品や差別化商品をアピールしていくことで消費を喚起していくことができる。また、セールやキャンペーンなどお得な情報にも敏感になっており、策が打てれば効果にもつながる。
		自動車販売店	自動車業界は補助金日当の制約があった。前倒しもあったので、補助金がもらえないのでは買い控えとなり現状と変わらないと思う。
		農産物直売所	政権交代があり期待感はあるもののそれほど大きな変化は見られないだろう。
		ガソリンスタンド	来店する客に話を聞いてみても、景気が良くなっているという話は聞かない。
		和食食堂	良くなりそうな要因が見つからないが、悪くなる要因も見えない。
		都市型ホテル	予約状況からみると3か月先も前年同時期と比べて同程度のため、景気には変わりはないと思う。
		旅行代理店	景気対策を国(政府)が打ちださない限り、国民(消費者)は、お金を使わないだろう。休業者(休職者)が多いから、仕事を国(県)で、休職者に与えてください。収入があれば、お金を使います(消費しますから)。
		タクシー運転手	金融不安は解消しつつあるが雇用悪化が心配される。
		タクシー運転手	今の政治ではどの党がやっても同じだ。
		ドライブイン	景気回復は期待できず「ムダな出費はしない」という消費者の考えが変わると思えない。
		ドライブイン	ガソリン価格等、物価の上昇が無いことが前提にあるが、景気は横ばいであると思われる。政権交代により、新政府の政策によっては、影響が出るかもしれない。
		パチンコ店	今後もこの状態がしばらく続くと思われるため。
		ゲームセンター	身近な所から景気が上向きになってきているような話が全く聞かれない。
		レジャー施設	景気回復の兆しが見られない。
		理・美容店	最悪の状態は脱した様に思われるが、仕事の量が増加していないようであるため。
		理・美容店	景気の悪さもここにきて落ち着いたように思う。良くもなく悪くもなくという感じである。
		クリーニング店	夏の衣替えが終わり冬季になるにしたがって、品物の点数が減少していく傾向があるため。
建築設計事務所	仕事の受注状況から判断して変わらないと思う。		
住宅販売会社	新政権の様々な施策が影響するのはもうちょっと先だと思われる。		
企業	企業	農業関係者	12月に入ると秋の収穫(米の販売)したお金を窓口に貯金に来所する人が多く見られるのが普通であるが本年度は販売価格が1,000円安の売り、今後不安を抱いている。肥料、農薬の価格は前年より1割安になっているが米販売金額安から生産コストが下がらない。
		製造業(食料品)	政治が急に変化がなければ変わらない。
		製造業(印刷・関連業)	いよいよ民主党政権の発足だ。100日以内が勝負だ。自民党政権とどう変わったか国民に見える政治また納得してもらえない政策を実行しないと、鳩山政権も短命内閣で、内紛が表面に出て政治不信の火ダネにまたなってしまうだろう。自民から民主に変わっても、経済政策だけはしっかりやってもらいたい。勤勉さを忘れた日本人が一生懸命頑張れば仕事も家庭もなんとかなる日本に速く戻って欲しい。
		製造業(窯業・土石製品)	本年に入りあまり変化がないのでこれから年度末にかけても同じように推移するのではないかと。
		製造業(金属製品)	引き合い件数等に変化は無いと判断できる。
		製造業(一般機械器具)	悪いまま続いているので自動車関係は年末頃には良くなる話がある。設備関係で。

や や 悪 く な っ て い る	雇用	運輸業（道路貨物運送業）	県の予算によって、協電関係否か。
		金融業	現在の雇用環境に於いて著しい改善がなされ無い限り近況の景気改善は見込めない。
		製造業（印刷・同関連業）	客や私自身の願いも込めて、これ以上悪くなってほしくないということだと思う。
	家計	人材派遣業	新政権も景気対策は来年4月以降なので。
		求人広告	中小企業の客が多く、今の現状利益を出すのは難しい。プラスマイナスゼロの方向で行くしかないとの事。このような状態では3か月後も見込めない。
		学校就職関係者	今後も、企業からの求人が増加するとは考えにくい。企業活動は、低迷のまま横ばいの状況にあると感じる。
		就職相談員	製造業が少し上向きのようだが、「この先不安」の声を聞くことが多い。
企業	専門スーパー	明確な景気対策がないため、出費をひかえ貯蓄にまわす傾向が強まると思われる。また、割引サービスのインパクトが強すぎるため割引されないものへの出費は減少すると思う。	
	ゴルフ場	来場、予約状況より。	
	ゴルフ場	政権交代による景気回復に期待したいが、すぐには見込めない。気になるのは、新型を含むインフルエンザの猛威・原油の高騰による外出控え。	
	製造業（印刷・同関連業）	秋から冬にかけて、縮小傾向が続くそう。打開の策はなく値段を下げるだけ。	
悪 く な っ て い る	家計	スーパー	同業他社のチラシ内容が今以上に安く販売しているし原価割れの商品も販売している状況だ。理由は売上予算通り各社共に達成していない模様だ。
		衣料品販売店	外国人客が非常に減少している。
	企業	製造業（食料品）	民主党政権に変わったことにより、今までの雇用対策や助成金制度が凍結される見込み。麻生内閣でようやく芽が出てきた景気対策が後退するのは目に見えている。
製造業（窯業・土石製品）		例年一番の閑閑期だが小売店が仕事を取れない状況から今年はそれ以上の相当量仕事が減少することを覚悟している。現在ほとんどの業種が逆境の状態だ。逆境徳方策は「忍耐」だと思う。	

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	商品価格の低額化、必要なもの以外購入しない。可処分所得の減にする買い控えが激しい。生活防衛になっている。
	商店街代表者	歳末合同売出し等についても景気悪いので縮小し大幅な改善をする等、全体的ムードが減少している。
	スーパー	衣料品の動き悪いようだ。外食は、2極化。客単価はかなり低いが、客数は前年と同様だ。客は来店しているが品数が変化している。
	コンビニエンスストア	所得の厳しい家庭が増加している中、値引きセール等の販促効果は以前よりも高まっている。副業を持つ人が身の回りで増加している。(特に主婦、フリーター等)
	自動車販売店	不景気と言う中で、スーパーや量販店の広告折込日には駐車スペースもない程の集客がある。しかし、消費は目的の物だけを購入し少しでも家計の節約をと考えている。決して、消費が戻ってきたという状況ではないと思う。
	小売業(酒類)	例年だが地元大企業大型連休に入ると静か過ぎる街へと変貌。商店飲食店などは影響大である。
	小売業(水産物)	景気のせいか、中年以上の男女の求人が増加した。前にも増してついでで買いが減少している。
	小売業(靴製品)	客の声として、安いのでイイヨーと云う声が耳に残る。客単価が減少傾向ではないか。
	レストラン	民主党の政権に期待したい。知事にも県北に温かい流れをして欲しい。
	居酒屋	来店客が少ない。
	和食食堂	政権が変わり何か周りが慌ただしく思える。15歳未満の子供が居る低所得者には、優遇されるが我々に対して増税が有るなら店を辞めるかもしれない。
	観光型ホテル	客は、以前にも増して、納得できないことにはお金は使わない。今の景気の不透明さを表わしていると思う。不安でお金が使えないのだと思う。
	観光型ホテル	なかなか景気の回復が見えてこない。サービス業は料金の値下げも限界にきている状況だ。
	旅行代理店	10/23-26技能五輪いばらき対会の開催による宿泊等の需要が見込まれる。
	タクシー運転手	最近、特に感じるのが、夜の飲食店からのタクシー利用が極端になくなった感がある。また、相変わらずだが地元企業がタクシーチケットを経費削減により使えないため、タクシー利用が著しく減少している。この状態では、バイトでもしなければ貯金などは到底できない。食べていだけで精一杯なのが現状だ。
	ゴルフ場	本来賑わうべき土、日、祝日の集客が思うように伸びてこない。企業の休日が増加している分、プレー料金の安い平日にプレーヤーが集中している。また、少人数での来場が多く、コンペ数は未だ回復傾向にはない。
	パチンコ店	個人所得の減少から来るお金の使い方の変化。良いものは買うが買う時とても慎重になる。この様な事からも景気が上向きになってるとは考えにくい。
	ゴルフ場	コンペの賞品購入の要請があり、生活必需品の希望が第一位である。新米など一括購入を実施し、安くいいお米を提供している。企業は平日勤務日を休日としているので、土、日の来場者が-30%位減少している。
	レジャー施設	当施設で夏にお祭りをやった際、前年より協賛業者の数が10%減少した。食材問屋さんの話、前年と同数商品も動いているが、値段を下げないと購入してもらえなくて苦しい。
	理・美容店	近隣の閉鎖した工場は取り壊され、跡地の整理後も利用されていない。市街地商店街の空洞化に似てきたように感じる。
企業	林業関係者	森林湖沼環境税を活用し間伐を実施し2年目にはいり間伐等の適切な管理が行われ森林の機能が発揮されることが期待される。
	水産業関係者	近所に自宅待機する人や、職を捜す人が数多く見られる。まだ不況が続いているのだと実感している。世界的不況と言え速く景気の回復が望まれる。
	製造業(精密機器)	安くないと、受注できない感あり。
	製造業(一般機械器具)	飲食店の平日夜は一頃に比べて混み合ってきているように思える。
	製造業(電気機械器具)	現状の製造業の中では、明るい話は全然ない。どこの会社様もこの先どうしようと言う不安な話ばかりで前向きな話題が出てこない。(当社もどう生き残っていくか方向性を定めている最中である)
	製造業(電気機械器具)	新型インフルエンザの流行が日々拡大し、身近に迫っていることを実感させられている。また、取引様からも、感染拡大防止対応などを講じる要請も有り「マスク」の着用「消毒用アルコール」などを購入・使用及び励行し、企業としての対策をとることが求められている。新型インフルエンザが与える影響(品不足等)を考慮し、感染防止対策に取組んで行く必要性を強く感じる。
	製造業(電気機械器具)	安価の商品が目立つ(弁当、洋服等)。労働者の賃金も残業減により、減少している。デフレスパイラルの状態である。
	情報通信業(情報サービス業)	入札商談に今まで参加してこなかった遠方の企業も多く参加し、利益が確保出来ない様な金額で受注するケースが見受けられる。
	金融業	現況が、市内の飲食業に直接反映しており、売り上げ減少傾向にある。特に設備資金の借入れがある事業者は、返済に苦慮している状況だ。

	不動産業	政権は民主に移り、変化のきっかけは期待できるものの、県知事は続投となっている。行政からの不動産分野への挺入れがどこまでされるのか？に期待と不安がある。
雇用	運輸附帯サービス業	株価が1年前から比して、上昇しているにもかかわらず世の中に変わる要因が見当たらない。
	就職相談員	工場でのリストラを受けて、失業していた人にとっては、工業系の景気回復が見込まれない為、職種にとらわれずなんでも良いから仕事を探している。（現実に環境整備の草取りに就いた人がいる）

(2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	大手ではないが身近に、倒産や閉店などで空き店舗が目立つ。借手がなかったり、処分が進まず放置された状態のままに、数年が過ぎた建物が増加している。
	商店街代表者	水戸で老舗の店が8月31日に2店廃業した。1店は、嘗て北関東一と言われた家具店であったが販売不振と経営者の高齢による会社解散の廃業だ。もう1店はレストランー美の流れを組む老舗飲食店でランチなどは近所のサラリーマン・OLなどに利用されていたが、返済に滞り突然、閉店してしまった。南町商店街では、10月31日ハロウィンイベントの開催を予定。また、好評であったプレミアム商品券を11月1日発売予定で期待感はあるが、抜本的な景気対策や年金高齢者対策・福祉医療対策が必要で不安があると購買力に影響が起る。
	百貨店、総合スーパー	婦人服の動きが良い。食品も良いなど、女性中心の購売が強く感じられる。紳士服や、高額商品の動きは鈍い。
	スーパー	ムダな出費は控えている。手作り、家庭での食卓を囲む機会が増えているか、調理素材の動きはいい。
	スーパー	本当に必要なものしか購入しない。
	コンビニエンスストア	飲み屋さんの客足が減少している。自分自身も飲みに行く回数が減少した。
	専門スーパー	以前よりも修理依頼品が増加している。また、レンタル工具の利用が業者の方を中心に増加している。(以前なら購入していたと思えるものも、修理、レンタルに移行している)
	レストラン	利用者の中には高齢者も多く、年金の不安から買い控えや安価な物を求める人も増加してきたと感じる。
	ファミリーレストラン	客との会話のなかでも昨年比較でも同予算は承認してはもらえず、出来る限り削減をしたいとの話が多いようだ。景気回復がいつになるんだろうという声がよく聞かれる。
	割烹料理店	広い道路ができれば、その回りに大型店舗ができ、個人の店は客足が遠のいてきている。
	都市型ホテル	市内の商店街も活気がなくシャッターの降りてる店舗も目立つ気がする。
	観光型ホテル	個人、家族連れは高速道路割引も重なり土曜、日曜、祝日に集中する傾向にあり、平日の動きが悪い。県内の法人需要は弱く、忘年会・新年会時期は不安が残る。
	タクシー運転手	ここ数年変化はなく、街の様子や客の話からは活気が感じられず、急激には変わらないと思う。
	タクシー運転手	夜の飲食店への客が減少している。
	タクシー運転手	この調査報告のために「ファミリーレストラン」「家電飯店」の様子を観察しているが、1年前の同期に比べて格段に流れていないと判断している。自分もまわりの方々も同じく本当に必要な物しか買わない状態だ。
	観光名所	北関の延伸やETC割引の影響からか、昨年の7、8月よりも来館者微増傾向にあるが、売上の伸びは鈍い。財布のヒモは固い。
	ゴルフ場	今までには考えられないほど客の帰る時間が早くなっている。不景気が影響しているのかゴルフだけで、パーティーなどしないで帰るコンペが多い。
	パチンコ店	いろいろな業種の仕事をしている人達と話しても景気が上向いているとの話は一向に出てこないし、先が見えないとの事柄の人が多いためまだ先行は暗いのかと思う。
	レジャー施設	持ち込みを禁止しているわけではないが、施設内で販売していないペットボトルのゴミが目立つので、レジャー先での購入は控え、スーパーなどで安く購入したものを持って来る客が多いと思われ、ETC割引なども含め、レジャーを安価に押さえないという消費者動向が感じられる。
	理・美容店	1000円カットに流れている女性客が多いように思う。
	理・美容店	夏まつりのきふ金も5000円が3000円になり全体の金額は下がっていた。話を聞きました。今まではよその町内の人は来なかったが、4、5人位は話を聞き出て来ました。私はおどろいています。税金も出さずただ食い、ゲーム、景品ももらっていきました。
	建築設計事務所	公共事業の予定価格に対し、落札額の波が感じられる。
	農業関係者	あまり出入りのないセールスが増加した。
	製造業(食料品)	客単価が低下している。
	製造業(印刷・同関連業)	安値受注が浸透している感じがし、企業の力が弱まっている印象がある。
	製造業(窯業・土石製品)	金融危機の買貸し剥がしや、貸し渋りが感が強くなってきていると思われる。
製造業(金属製品)	世の中の流れが値下げ値下げに走っている。中小企業は生き残りに懸命だ。	
製造業(一般機械器具)	長い間、残業なし。雇用調整金で埋めても大変。中小企業のこの先大変心配だ。もともとの景気対策を。	
製造業(精密機械器具)	国内外の工場など、現場設置型の大型製品に見積などの引き合いが増加しつつある。生産活動が復活傾向にあり、設備投資凍結の指示が一部緩められ始めているようだ。	
建設業	景気対策による補正予算の工事が出てはいるが未だ十分とは思われない。それにもまして、公共工事の見直し等削減の方向に向かう傾向なので、建設業界にとって先行きは当分厳しいと思われる。	
企業	運輸業(道路貨物運送業)	健康志向の高まりで里山ウォーキング、トレッキングをする人グループを多勢見かける。

情報通信業（情報サービス業）	個人消費の低下が報じられているが、郊外型SCは相変わらずにぎわっているようである。品ぞろえが豊富であり、価格帯にも違和感なく、駐車場等にも困らないとすれば、集客は当然と思うが、衣類関連店は若者をターゲットにした店が殆どであり、中高年を対象とした品ぞろえをしている店は余り見当たらない。比較的懐具合の暖かいのは中高年層と思うのだが。	
金融業	政権交代が実現するも、景気回復を新政権に託すという店主等は皆無で、政策効果による回復を見込んでいない。その為、不透明な先行きという面に変化なく、消費マインドは冷え込み、大型百貨店でも人はまばらである。買い物客の品定め時間が増えている。	
不動産業	カードサイドの飲食店の閉店が多くあり、その後空気が続いている。	
サービス業（広告業）	飲食店の客離れが深刻。閉店ぎりぎりのラインを割っているケースも多く、年末時期が悪ければ廃業となりそうな店舗が多い。	
サービス業（コンサルタント業）	水戸市の中心市街地の歩行者通行量が今年も落ち込んだのに対して、郊外の、特に観光地の交通量が増加しているように感じる。高速道路料金の割引サービスがマスコミなどに取り上げられるなどして消費者心理に好影響を与えていると思われる。	
雇用	求人広告	観光地（大洗等）の伸びが感じられない。もっと茨城をPRし、他県からの観光客を増やしてほしい。先日の知名度調査で茨城は最下位だったし・・・
	学校就職関係者	秋野菜、秋果物が特に値上がりしている。
	就職相談員	求職者の話として「何回採用試験を受けても書類選考で不採用になってしまう。面接までなかなか行かない。」との声を多数聞く。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	出来るだけ物を買わない風潮と相変わらず軽自動車走行が多く見られる。原油の値上げも一つの理由だが、安さの追求から低開発国との癒着の過剰も大きな要因になっている結果と思う。これからは量より質が大切で、物も人間性も同じではないだろうか。
	商店街代表者	1,000㎡以上の大型店の建設中が2店、人口が横ばいの中で大型店同士の競合、それに影響される地元店は厳しい経営環境を強いられる。
	商店街代表者	安価な商品が増加してきている。(品質もそれなりに前より良い気がする)
	スーパー	高齢老人の万引きが増加。全体的にも増加している。所持金がない場合が多い。
	スーパー	アルバイトの採用などが少なく働くところ困っているとの話がありやはり節約をしている様子だ。
	コンビニエンスストア	セールに対する反応がとてつもない。一方で、同じ形態の商品であれば、必ず値段の安い方をピックアップする人が非常に増加している。
	コンビニエンスストア	袋入の商品が売れている。袋ラーメンや袋キャンディーなど節約の一貫だ。
	小売業(菓子販売店)	各地で大型ショッピングセンターなどが増加してきており人の流れがそちらに向いているように思い、小売り店は厳しい状況にある。
	小売業(酒類)	お中元商品売上減少。例年、まとめてお中元を注文する客も数量が減少している。
	小売業(金物店)	近くにニトリの家具店が進出して来た。
	洋食食堂	ランチ時は忙しさを感じるが、売上げに反映してゆかない。客が単価の低いメニューを選んでいる。ランチ、ディナーともアルコールの出数が極端に減少した。夜の売上が伸びない。
	割烹料理店	郊外型の商業施設(大型)が増加して、どこも駐車場に止められない程客がいるように思う。
	日本料理店	飲食業で9月10月11月は、ずばぬけて売上が良くなるという見込みがないので店を閉めようという話を聞いた。他にも全体的に弱気な発言をする人が増加した。まだまだ良くなるとは思えない状況だ。
	タクシー運転手	世間にある“派遣問題”正社員の生活維持、考えたら当然であろう。タクシー所謂、運送旅客業、生産性のないサービス業や会社全体の売上、充足なければ“減車、人材削減”あつてしかるべき。年金を受けながら働く、年配者を増やし・・・ゆうたら事業所の営業力の差が見える。
	ドライブイン	景気に関わらず、生鮮品は好調である。
	パチンコ店	値段の安い物だけを求める考えに対してはそろそろその行動も一巡し、その価格に対して価値観を見い出せる物(技術)のみに支出が集中しだしているように思う。(自分がイイと思ったものには金額はあまり気にしない一方、いらぬものには一切払わない等)
理・美容店	会社も仕事が少ないので、正社員にアルバイトを認めている。若い人は、3か所もやっているそうだ。新車を乗ってくる客が増加している。	
クリーニング店	購入意欲と現実の経済状況とギャップを強く感じる。買う意欲があっても、先延ばしにしているようだ。	
企業	住宅販売会社	政権後代によるマニフェストへの期待から、子供の教育(塾や通信教育)へ興味を示している人が多数見られる。
	農業関係者	景気が悪すぎる。荷の動きが悪い。
	製造業(食料品)	求人募集に以前は応募者が20代の若い人が多かったが、現在はバリバリに働いていなければならぬ40代・50代の人が応募に来る、厳しさの表れだろうか?
	製造業(食料品)	出荷量が何処まで回復するか不透明だが、過剰となるであろう設備への対策を今後考える必要がある。
	製造業(化学工業)	消費の低迷が続いている。
	製造業(鉄鋼業)	建設業では大手プレハブメーカーに仕事をとられてしまって中小工務店に仕事が回ってこない。農業に関しても高齢化が進んで体耕地が多い。
	建設業	積み込みに来た運転手と話をする機会があったが、週3日の仕事しかなく生活が大変である・・・と聞いた。毎日出来る仕事が無いという事はどうしようもない状態であると感じる。自車の動きも非常に悪い。年末も忙しさを感じないで終わるのではないか。
	運輸業(道路貨物運送業)	油スタンド建設会社の融資申し込みが多い。
	保険業	最近雇用問題が不安で住宅を建築する人が減少気味である。
	不動産業	中堅企業からの受発注の動きが著しく低迷している。
雇用	サービス業	政権交代を機に景気回復、雇用情勢の好転を期待している。
	求人開拓員	いばらき就職支援センターが実施している出張相談(特に毎週木曜日に実施の神栖出張相談)における相談者の数(特に新規の登録者)が4~6月に比較すると7月以降増加してきた。従来は計10人前後だったのが倍近くに増加している。毎回、新規登録者数が数名以上が来るようになってきた。主な要因としては、神栖市に隣接した千葉県にある従業員700名の工場閉鎖が年末までに実施される予定で、配置転換を希望しない正社員の40歳前後の男性が増加してきている。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	つくば市内でもTX沿線は人口が増加しているが同じ市内でも筑波山麓周辺では人口減少が続き高齢者世帯が多く消費増にはならず今後も明るさはないだろう。若い世帯が同居が出来るような環境が増加するよう願う。
	スーパー	不景気による影響か、万引きによる被害が増加している。
	スーパー	P B商品の動きが良い。
	スーパー	外国人と思われるグループの集団での万引きが増加傾向にある。
	スーパー	景気とは関係ないかもしれないが、盆商戦で当店はあまり売れる店ではないが高速道路の料金が安くなったせいか、レジヤに動いた感じがある。安・近・短→安・遠・短で、お盆期間中に悪かった。
	コンビニエンスストア	市中心は、独立行政法人など多く存在するが、選挙後工事の中断や予算修正などに追われ残業増加など変化が見られる。今後、工事の中断など今後影響が懸念される。
	家電販売店	新型インフルエンザの増加に伴い、空気清浄機の販売が好調となっている。
	自動車販売店	人口の偏在化をととも感じる。
	農産物直売所	以前と比べ大量買いがほとんど無い。
	専門スーパー	新型インフルエンザがらみで、マスク、アルコール系の消毒液が異常に売れている。マスクに関しては、品薄は続く模様だ。
	ガソリンスタンド	民主党が第一党になり暫定税率の問題と高速道路の無料化と大きく変化する。
	洋食食堂	色々なイベントはあるが、その時だけで平常日は常連客に頼っているような状態である。
	洋食食堂	市内のホームセンター（ケーヨーD2）、京成ストア、東京ストアどれも閉店の発表があった。
	寿司店	盆は仕事が忙しかった。寺で施餓鬼という供養があるが、近所の寺では8/15、8/16、8/17と寺院によってそれぞれ行われた。それぞれ注文があり忙しかったが、いかに沢山の方が亡くなったかと感じ、高齢の方が多いのだと、回り回って景気にかかわってくるのではと思う。
	都市型ホテル	大手の企業も年2回の大きなパーティーも1回にするとか例年やっている周年行事をとりやめる等、今年になって増加している状況である。
	タクシー運転手	とにかく我慢するのみ。
	タクシー運転手	賞与の減額。
	ゴルフ場	コンペの予約が少しづつ増加しているので（あるいは復活）今後は、明るい部分もある。
	ゴルフ場	毎回同じで料金にはシビアなのは変わらない。2～3万円に対して200円～300円の交渉となる事も多い（割引等）。
	ゲームセンター	人気ショッピングセンター内でも閉店が相次いでおり景気の厳しさが増していると感じる。
レジャー施設	艇置き料の未払いが多い。支払いが遅れ、請求してもすぐに入金してもらえない。	
理・美容店	国民の祝日などに、出費をとられて今一店での消費生活の土で良くはなっていない。	
建築設計事務所	耐震診断の仕事が忙しそうだ。	
住宅販売会社	住宅建築に対し、両親の影響力が大きくなっている。本人たちの建築意欲に対し、両親が待ったを掛けているケースが増加している。	
企業	農業関係者	各地域の昔からのガソリンスタンドが廃業している。地下タンクの老朽化も理由の一つだと。事。収益性が無く設備投資も出来ないのが現状のようだ。
	製造業（食料品）	TX関連の開発のみが目につくが少し離れたら全く変わらない。
	製造業（食料品）	新型インフルエンザが流行し、客が外出しなくなるのを懸念している。
	製造業（飲料）	8月の最終土曜日の7時頃常磐高速の下り走行したが車が多かった。高速料金が安くなり人の動きが活発化している。
	製造業（窯業・土石製品）	企業の話は新型インフルエンザ対策でもちきりで、とても前向きな生産、雇用、残業時間の増加などはとても考えられない状態だ。早く政権が本格活動を開始して方向をはっきりさせる事が大事と考える。
	製造業（窯業・土石製品）	衆議院選挙で民主党が政権を取ったことで、今後公共事業がどうなるのか不透明さが拭えない。
	製造業（非鉄金属）	メーカー側のコストダウン要請が強まってきてる。収益の回復に至らず、厳しい経営状態が続くものと予想される。
	建設業	取引先の業種 1) 電力 2) 住宅機器メーカー 3) 自動車（トラック等） 4) 住宅建材メーカー 5) 青銅メーカー 6) ビールメーカー 7) 化学会社（フィルム製造） 8) 電話会社 9) 生・損保会社 10) 製薬、バイオ会社 以上、見通し薄い。ただし 10) については新規研究を国より委託有11月～大型工事希望有り。
	建設業（設備工事業）	夏の賞与がカット、給与の減額一般企業、国家公務員も給与の減額と聞き町の飲食店、スナック等は今以上に客が減少し、仕事を継続出来るか将来が心配だ。
	金融業	大型ショッピングセンターのオープン、駅ビルの全面改装等あったものの、平日の人の動きはあまり変化が感じられない。
不動産業	地価調査結果が発表となりデフレ現象が更に進み換金のための投げ売り等の物件が居住系・事業系共に出てくる。これに比べて買い手側も慎重になり今後も地価・賃料ともデフレが更に進むと思う。	

	人材派遣業	車関係でハイブリット車関連の企業は好調のようだ。
雇用	求人広告	茨城空港の開港により、道路が作られているが便利になる事により以前使われていた道路を通らなくなるので店舗の売上が落ち込むのではないかと心配。

(5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	スーパーなどで年配者特に男性の一人の買物が目につく。一人暮らしのお年寄りが増加していると思う。
	商店街代表者	地元のプレミアム付商品券の使用期間が9月末日なので最近使う人が増加してきた。さらに2割増のスーパープレミアム商品券が続いて出るという事で話題がもちきりだ。それと同時に敬老会用の寿券(3,000円)が支給されるので、500円~2,000円位のオーダーが10件位の老人会から入っている。市内商店の活性化にはありがたいことだが・・・
	寝具販売	ガソリン等の値上げや、野菜の高値が続いて、一般の景気は良くなっていない。新政権に期待したいが、すぐには景気は良くならないだろう。
	スーパー	景気の悪い話が何処でも出ている。それと併用自由民主党の批判も出ている。今の政府のやり方では景気が良くなるなど勝手な判断で話している人が多い。先行き対して不安が多く出ているような気がする。
	コンビニエンスストア	近隣の建設済のマンションの入居率も上がらず、思った様な利益をこむれていない。お中元なども今年は金額の抑えられたものが人気で、これから始まる年末商戦にも不安を感じる。
	衣料品販売店	2番底到来。対\$円相場80円台になるだろう。消費行動は必ず落ちる。
	家電販売店	各企業で売上減により販経費削減が余儀なくされている。そのため社員のリストラ、時間外労働削減により給与が減額となっている。景気は悪くなっている状況が続くそう。
	自動車販売店	必要なものは少し高くても購入するが、我慢出来るものは控える。趣味などで使用するものは購入する傾向にあると思う。
	ガソリンスタンド	隣の縫製工場が撤退したり、廃業した得意先があったりしている。
	和食食堂	全般的に皆、不景気に慣れ、落ちついている感じがする。
	和食レストラン、割烹	高速道路の料金が安くなったことで行楽地の各売店等の売上数は伸びているように思える。
	都市型ホテル	今後景気が好転する材料・ニュースがない。従って個人の消費の動向が良くなっていない。
	旅行代理店	燃えるゴミ出しの時、ゴミが少ない様に感じる。
	ビジネスホテル	今回の政権交代によるさまざまな影響が不安定な要素を含んでいて先行が不透明。今後の経済政策を注視する。
	タクシー運転手	景気対策として、地域振興券を発売したものが当日完売している。
	タクシー運転手	安い物、安い店が客が沢山見られる！
	ドライブイン	高速道路1,000円の影響がマイナスに出ている。高速道路が近くにないため昨年と比べると、8月の高速道路1,000円該当期間の客数が減少した。
	ドライブイン	通常価格より値下げした商品に対する客の反応は、非常に敏感である。お盆のセールス今まで以上に感じた。
	ゴルフ場	シェアと言われる年代の平日の活発な動きが目につく。
	ゲームセンター	小銭の落し物や、両替機での取り忘れが極端に減少した。
レジャー施設	客単価の減少。	
理・美容店	最近スーパーではレジ袋が有料化となり、エコバックを持参する人が本当に多い。環境のためというより、たとえ何円でも節約しようという考えであると思う。	
クリーニング店	景気回復を望む話が客と話していて多く商売をやっている「大変だ」と言う声もずいぶんと聞く。	
住宅販売会社	高速道路無料やガソリン値下げを期待する声が多い。	
企業	農業関係者	スーパー(量販店)等へ野菜の供給をしている生産者は価格が抑えられており、資材コストからみると経費と収益バランスがくずれ、新たな農機具等の設備投資をはかるにおいても少し間やすまなくてはならない。直売所は新米のスタート順調な販売に入っている。
	製造業(食料品)	北関東自動車道が海側までつながって最初の夏だったが、今年は冷夏だったので海へ出かける人が少なかった。
	製造業(印刷・同関連業)	過日、満員の東京ドームで野球観戦と楽しい時を過ごした。4万数千人の観客全員が明るく、楽しく、幸せそうな顔をしていた。「貧すれば鈍する」ではなく「貧は世界の福の神」と人口(国民)が考える世の中、国民の7割以上が東京ドームの観客のあの笑顔が持てるような社会になって欲しい。政治が悪いと政治家のせいにならないで自分自身、会社に、家庭に、そして地域の為に何が出来るか!まず自分自身で考えて見たい。
	製造業(化学工業)	海外(中国、台湾)でパソコン等に使われる汎用品の需要が急増したとの情報あり。一時的なものか継続的なものか確認中。
	製造業(窯業・土石製品)	選挙が終わりこれからどんなカジ取りになるかわからないが、世界の一角として政治だけではどうにもならないと思っているので我々住民の意識がどう動くかがカギ。消費が進むとは考えにくい。
	製造業(窯業・土石製品)	今日の新聞のチラシに、ラーメン店の無料券のサービス案内が2件あった。今は、安くしても客が来てくれない一部、おまけ無料にすれば来店してもらえるとの発想は不景気が不景気を助長する。デフレーションになる。不況を恐れず好況に安易にならずに毎日商売の本道をふまえなすべきをなす努力をしていくことが肝要だと思う。
製造業(金属製品)	仕事の”取り合い””受注合戦”の様な動きがあり、コスト割れとなる場面も多くなってきた。	

	建設業	元気のある会社が見受けられない。小売店もシャッターと通りで、依然として活気がない。補助金やエコ減税もあるが、回復にはつながっていない気がする。
	金融業	今回の政権交代による、具体的な政策が示されてからでないと、景気上昇は厳しい。
	不動産業	売買に関して新築に手が届かないのか中古住宅の取引が活発化している。
	製造業（印刷・同関連業）	9月に群馬県富岡市にある富岡製糸場に行ってきたが、私達団体の他には60代以降の夫婦が来ている程度だった。製糸場に行く道路際の店舗も活気がなかった。当筑西市も全く同様だ。
	サービス業（コンサルタント業）	政府発表のGDPの伸びや景気が底を打ったなどの内容のものは選挙対策としか思えない、私の周辺では全く変化が無く相変わらず不景気感が強く、それが特徴的といえれば特徴だろうか。
雇用	求人広告	求職が多くいるので求人広告の反響は良い。しかし、採用側は良い人材を求めている。景気が悪いので即戦力を求めているが、数多くいる求職者がいる割には採用率が低いと言っている。
	学校就職関係者	私の所属内では、離転職者に対する職業訓練を行っている。10月からの職業訓練の募集を行っていたが、例年になく応募者が多い。